第1番 霊山寺
●徳島県鳴門市大麻町坂東字塚鼻126
☎088-689-1111
●宿坊／なし

第2番 極楽寺
●徳島県鳴門市大麻町檜字段の上12
☎088-689-1112
●宿坊／あり（要予約）

沿線の見どころ



道の駅 第九の里

「第九」アジア初演の地といわれる鳴門市にある道の駅。徳島県内の観光情報や無料パンフレットなどが豊富に揃うので、四国観光の手始めにまず立ち寄ろう。地元で採れた野菜や果物、特産の"なると金時"などを販売する産直市のほか、敷地内にはベートーヴェンの像や「ドイツ館」「賀川豊彦記念館」も併設している。

所 徳島県鳴門市大麻町檜東山田53
☎ 088-689-1119
営 9:00～17:00、軽食コーナー9:30～16:30
休 第4月曜（祝日の場合は翌日）

境内の見どころ



縁結び観音

仁王門を入ってすぐ左手に建つ縁結び観音は、男女の縁だけでなく、健康との縁、幸せとの縁、仕事との縁など、様々な縁との結びつきにご利益があるとされている。お賽銭を入れて願いごとを唱えるのも良いが、水でお清めしながら真摯に祈れば功徳が得られるといわれており、広く信仰を集めている。

境内の見どころ



多宝塔

天正年間（1573～1592）、長宗我部元親の攻撃で堂塔は炎上。後に再建されるも、明治24年（1891）に本堂と多宝塔を残し再び焼失。大部分は近年の建築だが、応永年間（1394～1428）に建立された多宝塔は、600年近い歴史を持つ。下層が方形、上層が円形の造りで、五智如来が祀られている。

文化庁
JAPAN HERITAGE 日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成



仁王門をくぐったところには、鯉が泳ぐ泉水池がある

第1番 竺和山 一乗院 霊山寺
じくわざん　いちじょういん　りょうぜんじ

四国巡礼の第一歩を踏み出す

歴史・全体像

天平年間（729～749）、聖武天皇に深く信頼されていた行基が、天皇の勅願により開基。その後、弘仁6年（815）、弘法大師は人間の持つ八十八の煩悩をなくそうと、四国に88の霊場を開く決意をし、この地を訪れた。そして21日間修法している時に、数多くの菩薩が一老師を囲んで熱心に法を聞いている光景を見る。釈迦如来がインドの霊鷲山で説法されていた様子にあまりにも似ていたことから、インド（天竺）の霊山を日本（和国）に移すという意味を込めて「霊山寺」の名を付け、阿字五転の法則に従って、四国を右廻りに巡る遍路道を創った。以来、「一番さん」の名で親しまれている。

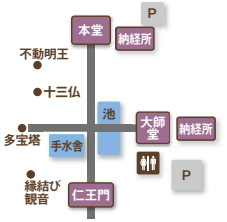
境　内

境内に入ると、左手に多宝塔、右手に鯉が泳いでいる泉水池、その奥に大師堂がある。参道の正面、階段を上ったところには、一見して古刹とわかる堂々とした本堂が建ち、中には本尊の釈迦如来が安置されている。この釈迦如来は左手に玉を持っている坐像で弘法大師の作といわれる。広い境内はいつも多くの参拝者で賑わっていて、休憩ができるように所々にベンチが設置されている。納経所は本堂横と大師堂裏にあり、どちらでも霊場巡りに必要な遍路用具をすべて揃えることができる。身も心も整えてスタートしよう。

御詠歌／霊山の釈迦のみ前にめぐりきてよろずの罪も消え失せにけり
本尊／釈迦如来
真言／のうまく さんまんだ ぼだなんばく
宗派／高野山真言宗
開基／行基菩薩



堂々たる構えの本堂は境内の一番奥に建つ



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第1番 霊山寺 ▼ 第2番 極楽寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第１番　霊山寺 ▶ 第２番　極楽寺

1.4km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校



へんろみち周辺の宿泊施設

1	旅館大鳥居苑	088-689-3523
2	一般社団法人 阿波椿	088-689-0705
3	極楽寺 宿坊	088-689-1112

縮尺＝1:13,000　0　500m

〈信号 ⊗ 警察署 X 交番 Y 消防署 〒 郵便局 ⛩ 神社 卍 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平28情使、第1132号)」

第2番 極楽寺
●徳島県鳴門市大麻町檜字段の上12
☎088-689-1112
●宿坊／あり（要予約）

第3番 金泉寺
●徳島県板野郡板野町大寺亀山下66
☎088-672-1087
●宿坊／なし

沿線の見どころ



JAグリーン アグリ板野

平成27年10月に移転オープン。町内の農家が届ける新鮮野菜を販売。売れ残った品は翌日に残さず、毎日その日に採れた新鮮な果物や野菜、花などの商品が並ぶ。もちろん市場などを通さないので、料金も市価より格安。およそ50品目あるが、来店するなら様々なものが揃っている午前中がおすすめ。

所 徳島県板野郡板野町川端字惣徳田49
☎ 088-672-7873
営 8:00～16:00
休 水曜、1/1～1/3

境内の見どころ



安産大師

明治の頃、大阪の女性が大師の夢のお告げによって四国遍路を始めたところ、極楽寺で急に産気づいた。しかし「最後まで巡り続けよ」との大師のお告げがあり、産気はおさまって結願後に無事男の子を出産したという。この女性が奉納した大師像は安産大師と呼ばれており、子宝や安産のご利益がある。

境内の見どころ



長命杉

樹齢1100年以上の巨木は、弘法大師がこの地での修法を終えた時に、寺を末永く守護せよとの祈りをこめ、自らの手で植えたといわれている。千年以上の風雪に耐えた老杉の霊気を受けると、長寿、病気平癒、身体健全、諸願成就が叶うといわれている。紅白の紐を通じて霊気を受ける作法となっている。



鮮やかな朱塗りの仁王門には江戸時代作の仁王像が納められている

第2番 日照山 無量寿院 極楽寺
にっしょうざん むりょうじゅいん ごくらくじ

宝物や庭園、見どころの多い寺院

歴史・全体像

行基が開基。弘法大師がこの地で21日間修行をし、結願の日に現れた阿弥陀如来の姿を彫刻し本尊とした。

戦国時代に各地で兵火が起き、極楽寺も土佐の長宗我部氏の攻撃を受けたが、信者の努力もあって、万治2年（1659）には現存する本堂が再建された。願掛け地蔵や、石と樹木をうまく配置した美しい庭園も整備。

本堂と大師堂は庭園先の小高い丘の上にあり、その下には観音堂、薬師堂、鐘楼、大師お手植えの「長命杉」、仏様の足型をかたどったとされる「仏足石」などがある。宝物も多く、中でも絵図「両界曼荼羅」は、南北朝時代のものと推測される。

境　内

本堂は、庭園を抜けて、44段の石段を上ったところに位置している。堂内に安置されている本尊の阿弥陀如来は坐像で、国の重要文化財に指定されている。

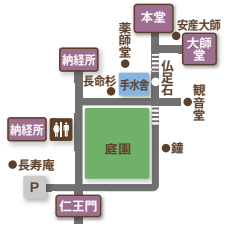
昔、この阿弥陀如来坐像から差す光が遠く海まで達し、驚いた魚たちが逃げてしまった。そのため不漁続きとなり、困り果てた漁師たちは、阿弥陀様にお願いして、本堂の前に小山を築いて光を遮ったという。この伝承が、日照山という山号の由来となっている。

本尊は秘仏のため公開されていないが、境内の平地に本尊と同体の阿弥陀如来石仏が設置されており、これは愛知のお遍路さんが建立したもの。誰でもお参りすることができる。

御詠歌／極楽の弥陀の浄土へ行きたくば南無阿弥陀仏口ぐせにせよ
本尊／阿弥陀如来
真言／おん あみりた ていぜい からうん
宗派／高野山真言宗
開基／行基菩薩



石段を上ったところにある本堂



日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ

第2番 極楽寺 ▼ 第3番 金泉寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第2番　極楽寺 ▶ 第3番　金泉寺

2.6km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 温泉
- 学校



1 りょうぜんじ 霊山寺

2 ごくらくじ 極楽寺

宿坊

3 こんせんじ 金泉寺

へんろみち周辺の宿泊施設

1	旅館大鳥居苑	088-689-3523
2	一般社団法人 阿波椿	088-689-0705
3	極楽寺 宿坊	088-689-1112

縮尺＝1:13,000　0　500m

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第3番 金泉寺
●徳島県板野郡板野町大寺亀山下66
☎088-672-1087
● 宿坊／なし

第4番 大日寺
●徳島県板野郡板野町黒谷字居内28
☎088-672-1225
● 宿坊／なし

沿線の見どころ



板野町歴史文化公園

板野町の中心部の丘陵地に自然の地形を活用して整備した自然公園。広い敷地内には、空想上の恐竜"イタノザウルス"の遊具を中心とする「祭の広場」、メリーゴーランド・フラワーカップなどがある「森の遊園地」、文化・芸術の発信基地で図書館を兼ね備えた「文化の館」などがあり、人々が憩い、学び、創造する場となっている。

所 徳島県板野郡板野町犬伏字東谷13-1
☎ 088-672-5888（文化の館）
営 終日開放
休 無休

境内の見どころ



弁慶の力石

源氏と平氏が真正面から戦った寿永4年（1185）、平家を討とうと屋島へ向かっていた源義経一行が、戦勝祈願をすべくこの寺に立ち寄った。その時に弁慶が持ち上げた石が「弁慶の力石」。大事な一戦を控えた義経が、弁慶の人並み外れた力量を自軍の兵の前に示し、士気を鼓舞したという。

境内の見どころ



黄金の井戸

八角観音堂の手前の小さな祠にあるのが、黄金の井戸と地蔵尊。寺名の由来ともなった井戸は、現在もこんこんと水が湧き出ていて、この井戸をのぞき込み、影がはっきり映れば長寿、ぼやけていると短命という言い伝えがある。また、井戸の傍らに祀られているお地蔵さんは、首から上の病気に霊験があるという。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成



天正10年(1582)に長宗我部元親の兵火にて堂宇は消失。その後再建された本堂

第3番 亀光山 釈迦院 金泉寺
きこうざん　しゃかいん　こんせんじ

今もこんこんと湧く大師の霊水

歴史・全体像

聖武天皇勅願により天平年間（729～749）に建立。当時は金光明寺といわれていたが、後に弘法大師が巡錫中に水不足で悩む地元の住民の声を聞き、井戸を掘った。すると霊水が湧き出たため、その素晴らしさに感動した大師は堂宇を建てて金泉寺と改称した。その後、亀山天皇が金泉寺を崇拝し、京都の蓮華王院にならった三十三間堂まねたお堂を建立。さらに千手観音を安置して、山号を亀光山と称した。天皇は勅願の道場として経蔵を造り、日本各地から学僧を集めて講演を行い、寺は大いに栄えたという。その頃の規模を知る資料として、東門、南門等が記された古図面が寺に伝わっている。

境　内

朱塗りの仁王門をくぐると、左手に鐘楼、右手に八角形をした色鮮やかな朱塗りの八角観音堂が見えてくる。

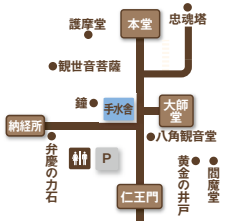
山を背景に正面に本堂、右手には改修された大師堂、その手前には黄金の井戸のある黄金地蔵尊堂が建っている。左側にある護摩堂の格天井は美しい花鳥が描かれていて見どころの一つ。

本堂は、なだらかな瓦屋根が印象的。天平の兵火で大師堂以外は焼失したので、現在の本堂はその後復興されたもの。境内は、いつ訪れても気持ち良く参拝できるようにと、きれいに清掃されている。

御詠歌／極楽の宝の池を思えただ黄金の澄みたたえたる
本尊／釈迦如来
真言／のうまく　さんまんだ　ぼだなん ばく
宗派／高野山真言宗
開基／行基菩薩



本堂の隣りには美しい庭園が広がる



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第3番 金泉寺 ▼ 第4番 大日寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第３番　金泉寺 ▶ 第４番　大日寺

5.0km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー

4 だいにちじ 大日寺（標高 75m）

5 じぞうじ 地蔵寺

3 こんせんじ 金泉寺

ごひゃくらかん 五百羅漢

あいぜんいん 愛染院

ほうこくじ 宝国寺

民宿森本屋

旅人の宿道しるべ

板野町歴史文化公園

あすたむらんど徳島

ソフトパーク・いたの

大塚製薬工場

徳島工業短期大学

諏訪神社

板野東小学校

板野西小学校

近藤内科

豊岡医院

板野町役場

三愛内科

竹本内科

井上病院

コメリ

ダイレックス

マルナカ

田園パーク

東徳島医療センター

奥宮神社

奥郷

吹田

山下

南郷

大寺

岡ノ宮

諏訪

大伏

松谷

那東

黒谷

羅漢

古城

楠本

板野町

板野駅

JR高徳線

至、引田ＩＣ

高松自動車道

至、板野ＩＣ

至、土成ＩＣ

徳島自動車道

至、鳴門ＩＣ

黒谷川

へんろみち周辺の宿泊施設

1	旅人の宿道しるべ	088-672-6171
2	民宿森本屋	088-672-3568

N

縮尺= 1:13,000　0　500m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平28情使、第1132号)」

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第4番 大日寺
●徳島県板野郡板野町黒谷字居内28
☎088-672-1225
●宿坊／なし

第5番 地蔵寺
●徳島県板野郡板野町羅漢林東5
☎088-672-4111
●宿坊／なし

沿線の見どころ



あすたむらんど徳島

遊びや体験を通して科学と自然にふれあえる大型公園。科学を身近に感じられる子ども科学館「常設展示場」や、雄大な星空を堪能できるプラネタリウム、小舟に乗って急流下りができる「吉野川めぐり」、工作が楽しめる「体験工房」などがある。屋外では大型複合遊具「わんぱく砦」を含む約30種類の遊具で遊ぶことも。

所 徳島県板野郡板野町那東字キビガ谷45-22
☎ 088-672-7111
営 9:30～17:00（7・8月は～18:00）
休 水曜
（祝日の場合は翌日、8/12～15の水曜は除く）
料 入園無料

境内の見どころ



泰山木

境内の隅には、泰山木という背の高い木が植えられており、5月から7月にかけて、ハクモクレンに似た白い花を咲かせる。花の大きさは人の顔ほどもあり、訪れる人の目を楽しませてくれる。春はこの木の向こうに続く山々のヤマザクラが見られるほか、本堂の前のソメイヨシノも見ごたえがあり、お遍路さんを癒やしている。

境内の見どころ



三十三観音

本堂と大師堂をL字型につないでいる廻廊には、観音様が姿を変える話に由来する33体の観音像が安置されている。これは西国三十三所の木造観音像で、江戸時代の明和年間（1764～1772）に大阪の信者が奉納したものといわれている。様々な形をした観音像が、じっとこちらを見据えている様は圧巻。

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成



参道を抜け、鐘楼門をくぐると正面に本堂が見える

第4番 黒巌山 遍照院 大日寺
こくがんざん　へんじょういん　だいにちじ

大日如来を本尊とする山坂の寺

歴史・全体像

開創年代ははっきりしないが、弘法大師が長く滞在して修法し、一尺八寸（約55cm）の大日如来を彫って本尊にしたという。ご本尊が大日如来の寺は四国八十八ヶ所霊場中6ヶ寺しかなく、真言宗では「宇宙の中心、万物の根源とされ、人々にあまねく、慈悲をもたらす最高の仏」とされている。大師は本尊にちなんで寺号を大日寺とし、第4番に定めた。その後歴史のうねりの中で、寺は何度も廃寺になってはその度に再建されている。天和・貞享年間（1681～1688）に再建された後は、大日如来を守り本尊としていた当時の阿波藩主蜂須賀家の帰依を受け、堂塔の修理なども行われた。

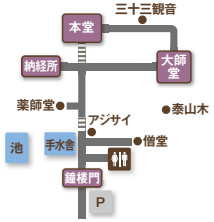
境　内

近くに渓流があり、森の木々に覆いつくされた霊地にふさわしい幽玄な雰囲気の境内。中でも、まず目に飛び込んでくるのが、朱塗りの門である。この門は上部が鐘楼になっている鐘楼門だが、1階部分が角柱、2階部分が円柱という変わった造りになっており、建造物としても非常に興味深い。鐘楼門からは石を敷きつめた参道が通っていて、正面に本堂、右手に本堂と廻廊でつながれた大師堂がある。秘仏となっている大日如来像は、室町時代後期の作であることが仏像の下部に書かれている。2016年に修復を終え、2017年から毎月28日に御開帳されている。

御詠歌／眺むれば月白妙の夜半なれやただ黒谷に墨染の袖
本尊／大日如来
真言／おん あびらうんけん ばざら だどばん
宗派／東寺真言宗
開基／弘法大師



本堂は木立に囲まれている



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第4番 大日寺 ▼ 第5番 地蔵寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

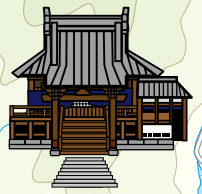
「四国遍路」巡礼マップ

第４番　大日寺 ▶ 第５番　地蔵寺

2.0km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー



4 だいにちじ 大日寺（標高 75m）

あすたむらんど徳島

ソフトパーク・いたの

大塚製薬工場

板野町

板野町歴史文化公園

徳島工業短期大学

諏訪神社

ほうこくじ 宝国寺

あいぜんいん 愛染院

ごひゃくらかん 五百羅漢

5 じぞうじ 地蔵寺

民宿森本屋

板野西小学校

近藤内科

井上病院

コメリ

田園パーク

マルナカ

竹本内科

豊岡医院

板野町役場

板野東小学校



3 こんせんじ 金泉寺

奥宮神社

旅人の宿道しるべ

東徳島医療センター

至、土成ＩＣ

至、引田ＩＣ

至、板野ＩＣ

至、鳴門北ＩＣ

高松自動車道

徳島自動車道

ＪＲ高徳線

板野駅

黒谷川

へんろみち周辺の宿泊施設

1	旅人の宿道しるべ	088-672-6171
2	民宿森本屋	088-672-3568

N

縮尺＝1:13,000　0　500m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

第5番 地蔵寺
●徳島県板野郡板野町羅漢林東5
☎088-672-4111
●宿坊／なし

第6番 安楽寺
●徳島県板野郡上板町引野字寺ノ西北8
☎088-694-2046
●宿坊／あり（要予約）

沿線の見どころ



上板町 技の館

上板町の伝統工芸藍染体験ができる施設。天然灰汁発酵建ての正阿波藍でありながら、500円からという手軽さもうれしい。体験後は「からだに優しいレストラン　桜並木」で、旬の食材で季節感を楽しめる料理を味わおう。阿波和三盆糖アイスクリームも好評。

境内の見どころ



大銀杏

境内の中心で寺を見守り続けているのは、「たらちね銀杏」とも呼ばれている、樹齢800年を超える母なる大木。幹が太く四方八方に枝を伸ばし、秋になると黄金の葉が境内を染める。また、奥の院と本堂を結ぶ本堂裏の参道には、毎年春に見事な梅の花が咲く。折々の風情を楽しみつつお参りしたい。

境内の見どころ



奥の院 五百羅漢堂

安永4年（1775）、実聞、実名という兄弟の僧によって創建された。しかし大正4年（1915）に参拝者の火の不始末で火事となり、羅漢の大部分が焼失。現在あるものは大正から昭和にかけて作られたもの。約200体の羅漢は、コの字型に並ぶ弥勒堂、釈迦堂、大師堂に数々の仏像とともに収められている。

所 徳島県板野郡上板町泉谷字原東32-4
6番安楽寺から北東へ2.1km
☎ 088-637-6555
営 9:00～17:00（藍染体験受付は15:30まで）
休 月曜

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成



黄金のたらちね銀杏が境内を見守る

第5番 無尽山 荘厳院 地蔵寺
むじんざん　しょうごんいん　じぞうじ

様々な表情の羅漢さんに出会える

歴史・全体像

弘仁12年（822）、嵯峨天皇の勅願によって弘法大師が開創。大師が刻んだ本尊の勝軍地蔵菩薩は、高さ一寸八分（5cm余り）で、甲冑を身につけ馬にまたがるという勇ましい姿。その後、浄函上人が一尺七寸（約51cm）の延命地蔵を彫り、その胎内に弘法大師の勝軍地蔵菩薩を納めたという。寺は源氏をはじめ多くの武将、阿波藩主蜂須賀家などに信仰され、広大な土地を有するようになった。

しかし、長宗我部氏の攻撃ですべて焼失。現在の建物はその後に建てられたものだが、今でも1万2000坪の広大な敷地をもち、大寺の面影を残している。

境　内

駐車場に車を停め、横の仁王門をくぐると、大きな銀杏の木に目を奪われる。

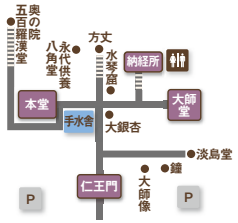
この寺はおよそ1200年の昔より法灯が連綿として受け継がれてきた真言宗の古刹であり、その歴史を物語るように、境内には本堂、大師堂、不動堂、永代供養八角堂、方丈、淡島堂が厳かな雰囲気の中に佇んでいる。

また、本堂脇の参道を通り石段を上ったところには、奥の院となる五百羅漢堂がある。ここへは境内を通って歩いて行くことができるが、車で直接乗り入れることも可能だ。境内にある水琴窟が音色を奏で、ひとときの清涼感を与えてくれる。

御詠歌／六道の能化の地蔵大菩薩導きたまえこの世後の世
本尊／勝軍地蔵菩薩
真言／おん かかかび さんまえい そわか
宗派／真言宗御室派
開基／弘法大師



大師が刻んだ勝軍地蔵菩薩が祀られる本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第5番 地蔵寺 ▼ 第6番 安楽寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第５番　地蔵寺 ▶ 第６番　安楽寺

5.3km　※赤い点線は遍路道の一例です



《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー

へんろみち周辺の宿泊施設

1	民宿森本屋	088-672-3568
2	民宿寿食堂	088-694-2024
3	安楽寺宿坊	088-694-2046



〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」


堂々とした佇まいの仁王門が遍路を迎えてくれる

第6番 温泉山 瑠璃光院 安楽寺
おんせんざん　るりこういん　あんらくじ

大師を守った松と天然温泉の寺

歴史・全体像

温泉山という山号からもわかるように、かつてこの周辺には鉄サビ色の温泉が湧き、万病に効くとされ、遠くから湯治に訪れる人も多かったという。四国行脚中にこの地を訪れた弘法大師も、この土地が病疫から人々を救う薬師如来と深い因縁で結ばれていると直感。坐像を刻み堂宇を建立して、四国八十八ヶ所第6番霊場と定めた。これが寺の発祥となっている。諸堂には、慶派の京都大仏師・松本明慶が無名時代から彫り続けた仏像60体余りが祀られている。また、性霊殿には、弘法大師のさまざまな筆法の書が刻まれた「大師之壁」がある。

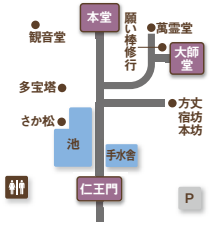
境　内

本尊を祀った本堂は、昭和38年（1963）に再建された鉄筋コンクリート造りの建物。四国霊場には薬師如来を本尊とする寺は多いが、1番から順に巡ってくると、一番最初に出会うのがこの寺だ。

昭和37年（1962）、不治の病で医者にも見放されていた愛知県の女性が、夫とともに藁にもすがる思いで病気平癒の願いを込めて霊場巡りに出掛けたところ、その旅の途中に病気はみるみる快癒していったという。本尊はその霊験に感激し、奉納された仏像だ。弘法大師作といわれる元来の本尊は、胎内仏として納められている。

御詠歌／仮の世に知行争うむやくなり安楽国の守護をのぞめよ
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／高野山真言宗
開基／弘法大師


順打ちで最初に薬師如来に出会える寺



所 徳島県板野郡上板町引野寺ノ西北8
電 088-694-5889
開 9:00～16:30
休 無休

第6番 安楽寺
●徳島県板野郡上板町引野字寺ノ西北8
☎088-694-2046
●宿坊／あり（要予約）

→

第7番 十楽寺
●徳島県阿波市土成町高尾字法教田58
☎088-695-2150
●宿坊／あり（要予約）

沿線の見どころ



お四国のしらかわ

安楽寺の山門と駐車場の間にある土産物店。お守りやお菓子、遍路用品を販売している。伝説の「さか松」にちなんだ「さかまつ煎餅」（540円～）の小袋には、「ほどほどに」というイラストが描かれている。ついつい先を急いでしまう遍路旅だが、コーヒー（200円）で一息ついてから出発しよう。

境内の見どころ



さか松

寺に伝わる伝説として有名な大師身代わりのさか松。境内の池のほとりにある樹齢1300年もの松の木で、42歳の厄年に弘法大師がこの地に来た時、猟師の青年が間違えて射た矢から大師を守り助けたという。枝をさかさまに挿しても芽吹いたのでさか松と呼ばれ、拝むと厄除けになると信仰されている。

境内の見どころ



方丈

遍路や旅人を泊めて保護するよう指定された寺「駅路寺」であった安楽寺。寺には蜂須賀家政公によって出された慶長3年（1598）の「駅路寺文書」が寺宝として大切に保存されている。当時の面影を残すのは茅葺き屋根の立派な方丈だ。また、宿坊には大師堂前を源泉とする天然温泉「弘法の湯」があり、宿泊者のみ入浴することができる。

文化庁
JAPAN HERITAGE 日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第６番　安楽寺 ▶ 第７番　十楽寺

1.2km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー



へんろみち周辺の宿泊施設

1	安楽寺 宿坊	088-694-2046
2	十楽寺 宿坊	088-695-2150
3	越久田（おくだ）屋	088-695-5322



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平28情使、第1132号)」

第7番 十楽寺
●徳島県阿波市土成町高尾字法教田58
☎088-695-2150
●宿坊／あり（要予約）

第8番 熊谷寺
●徳島県阿波市土成町土成前田185
☎088-695-2065
●宿坊／なし

沿線の見どころ



道の駅どなり

国道318号線沿い、渓谷美を誇る奥宮川内　県立自然公園内にある道の駅。テーマは食とアートの融合。館内では郷土食たらいうどんをはじめ、お手頃価格で定食、喫茶が楽しめる。手づくりアート作家の販売コーナー、屋外にはコインシャワー、キャンプ場、遊歩道もあり車中泊にも適している。詳細は「道の駅どなり」でWEB検索。

所 徳島県阿波市土成町宮川内字平間28-2
　十楽寺から北へ5.5km
☎ 088-695-5405
営 10:00～17:30（11～3月は～17:00）
休 月曜（祝日の場合は翌日）

境内の見どころ



愛染堂

遍照殿という額のかかげられた中門は、上層部が愛染堂となっている。門の中にある階段を上ると、愛欲貪染の煩悩をそのまま悟りに変えるという愛染明王が祀られている。愛染明王は縁結びの本尊で、結婚に限らず諸々のご縁を結んでくれるといわれ、参拝者はもちろん、成就したお礼参りに訪れる人も数多い。

境内の見どころ



水子地蔵

鐘楼門をくぐってすぐのところに祀られているのは、亡くなった子どもを慰める水子地蔵。上り坂に沿って、視界いっぱいに約70体もの水子地蔵が並んでいる。赤子を抱いたお地蔵様のまわりを小さな愛らしいお地蔵様が囲んでいる光景は見る人の心を動かし、自然と手を合わせたくなる。

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成


現在の寺は天保年間に以前の場所から移動し、再建された

第7番 光明山 蓮華院 十楽寺
こうみょうざん　れんげいん　じゅうらくじ

十の楽しみを得るよう願って建立

歴史・全体像

現在地より3km余り奥の十楽谷に堂ヶ原という場所がある。この地を訪れた弘法大師が阿弥陀如来を感得し、樟で本尊を刻み堂宇を建立して開基した。またその際、山号・寺名を命名するにあたり、生・老・病・死・愛別離苦（愛する者といずれ別れなければならない苦しみ）、求不得苦（求めるものが得られない苦しみ）など、人間が持つ八つの苦しみを阿弥陀如来の慈悲によって克服し、十の光明に輝く楽しみを得られるようにとの願いを寺名に込めた。その後、長宗我部軍の兵火に遭い焼失。寺は江戸期に入って現在の場所へ移転。その後も再建などが繰り返されたが、本尊は創建時より伝わるものだ。

境　内

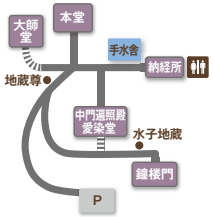
朱色と白のコントラストが美しい中国風の鐘楼門は、十楽寺のシンボルとして知られている。上層が朱塗り、下層が漆喰という凝った造りをしている。エキゾチックな雰囲気を漂わせているうえ、深緑の背景に映えるため、ここで記念撮影をするお遍路さんも多い。

この門をくぐり中へ入ると、正面に水子地蔵尊が祀られており、その横の石段を上っていくと中門遍照殿がある。この門は上層部が愛染堂となっており、階段を上ると中に愛染明王が祀られている。

本堂の右側に客殿と方丈があり、大師堂は本堂に向かって左手の石段を上ったところにある。

御詠歌／人間の八苦を早く離れなば
到らん方は九品十楽
本尊／阿弥陀如来
真言／おん あみりた ていぜい からうん
宗派／高野山真言宗
開基／弘法大師


緑の木々に映える本堂（平成6年改築）



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第7番 十楽寺 ▼ 第8番 熊谷寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第７番　十楽寺 ▶ 第８番　熊谷寺

4.2km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー

へんろみち周辺の宿泊施設

1	安楽寺 宿坊	088-694-2046
2	十楽寺 宿坊	088-695-2150
3	越久田(おくだ)屋	088-695-5322

8 くまだにじ 熊谷寺（標高 120m）

7 じゅうらくじ 十楽寺 宿坊

6 あんらくじ 安楽寺 宿坊

A地点

天然温泉御所の郷

越久田屋

緑の丘スポーツ公園

へんろ石（道標）

徳島自動車道

至、脇町IC

至、藍住IC

土成IC

阿波市

山分

土成町土成

西原

JA 板野

御所小学校

御所大橋

宮川内谷川

上藤原

土成町宮川内

土成町吉田

熊ノ庄

引野

上板町

熊野神社

真念しるべ石

門田

引野の森

土成町高尾

林

N

縮尺= 1:10,000　0　500m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

第8番 熊谷寺
●徳島県阿波市土成町土成前田185
☎088-695-2065
●宿坊／なし

第9番 法輪寺
●徳島県阿波市土成町土成字田中198-2
☎088-695-2080
●宿坊／なし

沿線の見どころ



天然温泉 御所の郷

阿讃の麓に湧く極上の天然温泉で、遍路道沿いにある。毎日男女が入れ替わる和の湯「けやき」や古代ローマの湯「ビーナス」のほか、低温サウナ、スチームサウナなどたくさんのコースがあるので、たっぷりと癒やしの時間を楽しんで。リラクゼーションマッサージでさらに上の癒やしも体験できる。女性専用の岩盤浴もあり。

所 徳島県阿波市土成町吉田字梨木原1
熊谷寺から東へ1.6km
☎ 088-695-4615
営 10:00～23:00（札止22:00）
休 第4水曜（祝日の場合は翌日）
料 大人600円

境内の見どころ



山門

山門は、高さ13.2mの和様と唐様（禅宗様）の折衷様式で、貞享4年（1687）に建造された県指定の有形文化財。四国霊場の木造山門としては最大規模であり、2層目の天井・柱等には極彩色の天女像等が描かれている。また、現存する大看板「普明山」の額は安政大修理の時に寄付されたといわれている。

境内の見どころ



多宝塔

安永3年（1774）に建立された。胎蔵界の大日如来を中心に、東側に阿閦如来、南側に宝生如来、西側に無量寿如来、北側に不空成就如来と、四方に四仏が祀られている。色彩豊かに彩られたこの塔は、多宝塔としては四国地方最古にして最大規模を誇っている。建物に施された数々の彫刻もじっくりと見ておきたい。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成



檜などの植林が進められ、緑に包まれた境内

第8番 普明山 真光院 熊谷寺
ふみょうざん　しんこういん　くまだにじ

歴史を偲ばせる堂宇が今なお残る

歴史・全体像

弘仁8年（817）、弘法大師が熊谷寺の閼伽ヶ谷（あかがたに）で修行している時に熊野権現が出現。「長く衆生済度の礎とせよ」と告げ、一寸八分（5cm余り）の金の観音像を授けた。そこで大師は等身大の千手観世音菩薩を刻み、その胎内に熊野権現から授かった観音像を納め、堂を建立して本尊として安置した。これが、熊谷寺の始まりと伝えられている。

元禄年間（1688～1704）にかけて、大師が修行した伝説の地に堂塔が次々と建てられ、現在の境内の基となった。山門、大師堂、多宝塔など、歴史を偲ばせる建造物が今なお残り、重厚な風情を漂わせている。

境　内

山門をくぐり、長い坂や階段を上っていくと中門が見える。本堂は中門を上った正面、山の中腹部にある。

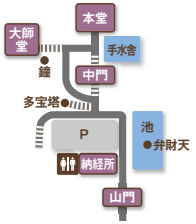
本堂と本尊の千手観世音菩薩は、昭和2年（1927）に火災に遭い全焼した。現在の本堂は、昭和15年（1940）再建の本尊を安置する奥殿と拝殿、昭和45年（1970）再建の供養殿から成る。本尊は供養殿とともに再建された。

また、本堂から階段を36段上ったところにある大師堂は、屋根に据えつけられた露盤から、宝永4年（1707）の建立とわかる。安置されている大師像も永享3年（1431）の作と古いものである。

御詠歌／たきぎとり水熊谷の寺に来て難行するも後の世のため
本尊／千手観世音菩薩
真言／おん ばざら たらま きりく
宗派／高野山真言宗
開基／弘法大師



歴代住職の尽力によって再建された本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第8番 熊谷寺 ▼ 第9番 法輪寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第８番　熊谷寺 ▶ 第９番　法輪寺

2.4km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

縮尺= 1:13,000　0　500m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
(承認番号　平28情使、第1132号)」

8 くまだにじ 熊谷寺（標高 120m）

緑の丘スポーツ公園

へんろ石（道標）

9 ほうりんじ 法輪寺

10 きりはたじ 切幡寺（標高 150m）

へんろ石（道標）

至、土成ＩＣ

至、脇町ＩＣ

切幡トンネル

徳島自動車道

阿波市

土成工業団地

土成町土成

土成支所

土成小学校

土成町成当

土井神社

相尾神社

円光寺

浄土宗称念寺

小豆洗大師

市場町切幡

土成町秋月

土成町水田

九頭宇谷川

浦池

金地

法林地

大場

日吉

神ノ木

頓城地

相尾

西原

樫原

土成

N

第9番 法輪寺
●徳島県阿波市土成町土成字田中198-2
☎088-695-2080
●宿坊／なし

第10番 切幡寺
●徳島県阿波市市場町切幡字観音129
☎0883-36-3010
●宿坊／なし

沿線の見どころ



阿波市立 市場歴史民俗資料館

市場町地域で出土した石器や須恵器、八坂神社古墳出土の切り子玉などの副葬品、蜂須賀家政公の御判物、原士関係絵図、武具、近世の民具や農耕具・養蚕具など、市場町の歴史を今に伝える資料の数々を展示。切幡寺大塔修復に伴う資料と市場地域の絵地図も見ごたえあり。市場図書館との併設になっている。

所 徳島県阿波市市場町市場字上野段212-2
法輪寺から西へ5.1km
☎ 0883-36-6455
開 9:00～17:00
休 月曜、祝日（月曜の場合は翌日）、資料整理日（毎月末）、12/28～1/4
料 無料

境内の見どころ



大師堂・大師御衣

大正期の大きな奉納額が掛かっている大師堂。これは不治の病から奇跡的に回復した人の返礼で、詞書には奉納者の氏名とその経緯が記されている。また、この堂の中には珍しい「大師御衣」が納められている。この寺にあるものは、明治天皇から下げ渡されたもので、現在は一般公開されていない。

境内の見どころ



健脚祈願の草鞋

昔、松葉杖なしでは歩けない人がこの寺にお参りに来た。すると、参道の真ん中辺りで足が軽くなり、松葉杖なしでも歩け、ついには足が完治したという。そのため本堂にはたくさんの草鞋が奉納されている。また健脚祈願の願をかけた草鞋が授与されており、足腰のお守りとして持ち帰る人も多い。



田園の中にあり、「田中の法輪さん」と呼ばれ親しまれている

第9番 正覚山 菩提院 法輪寺

しょうかくざん ぼだいいん ほうりんじ

涅槃釈迦如来を本尊とする寺

歴史・全体像

現在の場所から約3km離れた谷間の地で、弘法大師によって創建されたという歴史を持つ。以来寺は壮大な伽藍を誇っていたが、戦国時代、この地は長宗我部軍の兵乱の激戦区で、境内は兵火によってすべて焼失。その後土石流の影響もあり、正保年間（1644～1648）になって現在地へ移され、正覚山法輪寺と名を改めて再興された。しかし、安政6年（1859）にまたしても失火により鐘楼だけを残して焼失してしまう。多くの文献では本尊は涅槃釈迦如来だけと記されているが、本堂には三国伝来（インド、中国、日本）の仏像とされている薬師如来、釈迦如来、阿弥陀如来の三如来像も祀られている。

境　内

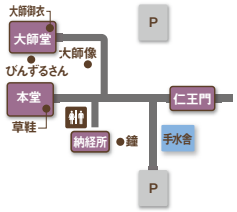
本堂には四国八十八ヶ所霊場唯一といわれる珍しい寝姿の仏像が祀られている。この涅槃釈迦如来像は弘法大師作といわれており、釈迦がクシナガラの沙羅双樹の下で入滅した（亡くなられた）際の様子を表したもの。北枕に顔は西向き、右脇を下にして横たわり、その傍らには釈迦を慕って嘆き悲しむ弟子たちや動物たちの像が置かれている。

この寝姿は、別名「賢者の寝相」とも呼ばれ、安静を保つのに最良の形だといわれている。開帳は5年に一度となっており、最近では平成27年（2015）に開帳された。次の機会にはぜひ見ておきたい。

御詠歌／大乗のひほうもとがもひるがえし転法輪の縁とこそきけ
本尊／涅槃釈迦如来
真言／のうまく　さんまんだ　ぼだなん ばく
宗派／高野山真言宗
開基／弘法大師



仁王門を抜けると、まっすぐ本堂へ続く



日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第９番　法輪寺 ▶ 第 10 番 切幡寺

3.8km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

N

8 くまだにじ 熊谷寺（標高 120m）

緑の丘スポーツ公園

へんろ石（道標）

樫原

浦池

土成工業団地

金地

至、土成 I C

西原

徳島自動車道

土成町土成

土成支所

法林地

阿波市

九頭宇谷川

大場

土成小学校

日吉

土成町成当

土井神社

土成

10 きりはたじ 切幡寺（標高 150m）

へんろ石（道標）

切幡トンネル

至、脇町 I C

9 ほうりんじ 法輪寺

椙尾

頓城地

市場町切幡

浄土宗称念寺

土成町秋月

土成町水田

円光寺

あずきあらいだいし 小豆洗大師

神ノ木

縮尺＝ 1:13,000　0　500m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情報）及び数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地名情報）を使用した。
（承認番号　平28情使、第1132号）」

第10番 切幡寺
●徳島県阿波市市場町切幡字観音129
☎0883-36-3010
●宿坊／なし

第11番 藤井寺
●徳島県吉野川市鴨島町飯尾1525
☎0883-24-2384
●宿坊／なし

沿線の見どころ



鴨島温泉 鴨の湯

銭湯感覚で気軽に温泉が楽しめる入浴施設。浴室には、大浴場、水風呂、サウナ、外には檜と岩の露天風呂があり、男湯女湯が1週間毎に入れ替わる。露天風呂からの眺めは格別だ。泉質は低張性弱アルカリ性低温泉で、神経痛や疲労回復、健康増進などに効果があるそう。ドーム型の建物が目印。

所 徳島県吉野川市鴨島町飯尾415-1
11番藤井寺から北東へ2km
☎ 0883･22･1926
営 10:30～22:00
休 第3木曜
料 大人500円

沿線の見どころ



江川湧水源

環境省選定名水百選にも選ばれている湧水。夏季は10℃前後に下がり、冬季は20℃前後に上昇する「異常水温」と呼ばれる珍しい現象がみられる。周辺には「ふるさとの森」があり、年間を通じて休憩所として、多くのお遍路さんで賑わっている。

所 徳島県吉野川市鴨島町
☎ 0883･22･2271（吉野川市生涯学習課）
営 散策自由

境内の見どころ



切幡寺大塔

国の重要文化財に指定されている大塔。豊臣秀吉の子である秀頼が大阪の住吉神宮寺に寄進したもので、明治維新の時、神宮寺が廃寺となったため、第45世住職天佑上人が東西両塔あったうち、当時残っていた西塔を買い取った。それを明治6年（1873）から10年かけてこの地に移築した。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成



女人即身成仏の伝説で知られる寺

第10番 得度山 灌頂院 切幡寺
とくどざん　かんぢょういん　きりはたじ

千手観音になった娘を祀る古刹

歴史・全体像

寺の開創は、遥か平安時代の古に遡る。弘仁6年（815）、弘法大師が旅僧姿で四国巡錫中に山麓に到った時、衣がかなり傷んでいた。近くの民家に繕いの布を求めると、家の中で機を織っていた娘が、織りかけていた布を惜しげもなく断ち切って差し出した。この娘の行為に感動した大師は、「亡き父母のために観音像を」という娘の願いを聞き、一夜で千手観音像を刻むと、娘を得度させ、更に秘密灌頂を授けた。すると娘の身から七色の光明が放たれ、たちまち千手観音の姿に変わった。そこで弘法大師は嵯峨天皇に奉請して一寺を建立したのが、この切幡寺の始まりである。

境　内

寺は切幡山の中腹、標高155ｍの所にある。山麓の山門から境内までの距離はかなり遠く、坂道と333段の石段が待っている。一段一段、踏み締めながら上っていきたい。

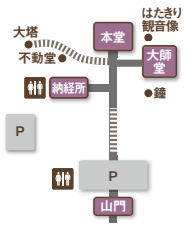
境内には本堂、大師堂、その奥に、はたきり観音の銅像、鐘楼、大塔、不動堂がある。

寺には2体の観音像があり、弘法大師作の千手観音を南向きに、女人即身成仏の千手観音を北向きに安置している。娘が化身した千手観音は、秘仏であるため公開されていない。

御詠歌／欲心をただ一筋に切幡寺のちの世までの障りとぞなる
本尊／千手観世音菩薩
真言／おん ばざら たらま きりく
宗派／高野山真言宗
開基／弘法大師



333段の石段を上りきった先に本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第10番 切幡寺 ▼ 第11番 藤井寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第10番 切幡寺 ▶ 第11番 藤井寺

9.3km ※赤い点線は遍路道の一例です

《凡 例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

10 きりはたじ 切幡寺（標高 150m）

へんろ石（道標）

9 ほうりんじ 法輪寺

あずきあらいだいし 小豆洗大師

空海庵・切幡 遍

旅館八幡

十川スーパー

大久保内科

八幡地区公衆

八幡小学校

地蔵尊・

江ノ島

吉野川

大野島橋

阿波中央橋

チャンネルカン

知恵島小学校

江川湧水源

吉野川医療センター

鴨島第一中学校

ママの店

西麻植駅

美摩病院

西麻植小学校

ひまわり農産市

民宿富士

飯尾敷地小学校

鈴木内科

米谷旅館（カネマン）

ハローズ

阿波川島駅

川島城

川島岡山

川島中学校

川島高等学校

川島小学校

吉野川市

阿波市

土成小学校

土成町成当

土成町秋月

土成町水田

土成町伊月

土成町郡

市場町切幡

市場町八幡

浄土宗称念寺

頑城地

神ノ木

阿波高等学校

柿原小学校

川原田

王子

中郡

シノ原

池田

追分

南郡

一丁目

二条

北二条

北須賀

中西

多津美

南部

西知恵島

江川

大西

大北

呉島

中筋

大東

鴨島町上下島

鴨島町飯尾

鴨島町敷地

飯尾川

長原

北原

芝生

大塚

平倉

敷地奥

川島町山田

鷹ノ巣

麻植市

鴨島町西麻植

広畑

麻名用水

JR高徳線

神後

鴨島町粟島

川島町川島

城山

新田

田渕

中須賀

東村岡山

川島町宮島

鍛冶屋敷

中須

敷地

立石

源光寺

久保田

天神

川島町桑村

山ノ神

上山田

新原

吉野

出口

東原

吉友

野神

中山

立石

定松

稲荷

御幸ノ北

宮ノ西

宮ノ本

原

切幡トンネル

徳島自動車道「土成」IC

至 脇町 IC

へんろみち周辺の宿泊施設

1	旅館八幡	0883-36-6186
2	米谷旅館（カネマン）	0883-25-2226
3	チャンネルカン	0883-24-7059
4	民宿富士	0883-36-1088

11 ふじいでら 藤井寺

N

縮尺＝1:24,000 1000m

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平28情使、第1132号)」

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第11番 藤井寺
●徳島県吉野川市鴨島町飯尾1525
☎0883-24-2384
●宿坊／なし

第12番 焼山寺
●徳島県名西郡神山町下分字地中318
☎088-677-0112
●宿坊／なし

沿線の見どころ



杖杉庵（じょうしんあん）

左手にイチョウの木、右手に大きな杉の木がある小さな庵。弘法大師の後を追って懺悔の旅をしていた衛門三郎が力尽きて最期を迎えた場所だ。彼が遍路の間に使っていた杖を墓標がわりに立てたところ、その杖から葉が出て、大きな杉に育ったという。初代の杉は享保年間（1716～1736）に焼失し、現在のものは二代目。

所 徳島県名西郡神山町下分字地中
☎ 088-676-1118（神山町産業観光課）
営 参拝自由

境内の見どころ



弘法大師お手植えの藤

境内に入ってすぐ目に入るのは立派な藤棚。藤は弘法大師のお手植えといわれており、寺の名前の由来にもなっている。見頃は4月下旬からゴールデンウィーク中。紫のノダ藤、八重咲きで濃い紫のレンゲ藤に、ピンク、小豆色などのカラフルな藤の花が見事に咲き競った様子は、幻想的な美しさを醸し出す。

境内の見どころ



雲竜の天井絵

本堂をお参りする際に、見逃せないのが天井に描かれている雲竜。地元鴨島出身の林雲渓の作で、本堂を全面改修した昭和52年（1977）に描かれたものということだ。30畳ほどの大きさがあり、睨みをきかせた迫力のある顔をしている。まるで本尊の薬師如来を守っているかのようにも見える。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成



藤の名所として知られるが、紅葉の季節もまた風情がある

第11番 金剛山 藤井寺
こんごうざん　ふじいでら

大師お手植えの藤に彩られる仙境

歴史・全体像

弘仁年間、この地に立ち寄った弘法大師は、三方を山に囲まれた渓流の水清き仙境に心をひかれた。現在境内のあるところから、さらに山中にある八畳岩の上に護摩壇を築き、金剛不壊の道場として、17日間修行したといわれている。寺はその後、真言密教の道場として栄え、山全体に七堂伽藍が建ち並んで荘厳な美を極める大寺院となった。ところが天正年間（1573～1592）に土佐の長宗我部元親の兵火に遭い、堂宇は焼失。天保3年（1832）にも火災に遭い、伽藍のすべてを焼失してしまう。だが、弘法大師作といわれる本尊の薬師如来は2度の火災の難を逃れ、重要文化財に指定されている。

境　内

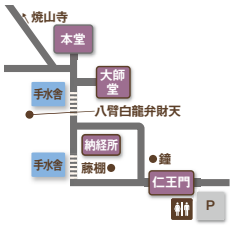
境内には8本の手を持つ八臂白龍弁財天を祀ったお堂がある。8本の手には蔵の鍵や弓、矢など様々な物を持っていて、金運や武術の上達、芸事の上達などの願いごとを叶えてくれるという。このお堂の前には弁天水が流れている。この水は第12番焼山寺付近の谷川の水を引いたものだ。

本堂の横の山道には、ミニ西国三十三ヶ所とミニ四国八十八ヶ所が設けられている。ミニ西国三十三ヶ所は10分ほど、ミニ四国八十八ヶ所は40分ぐらいで回ることができる。山道を散策する気分で、こちらもぜひお参りしてみよう。

御詠歌／色も香も無比中道の藤井寺
真如の波のたたぬ日もなし
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／臨済宗妙心寺派
開基／弘法大師



平成8年に新築された総檜造りの大師堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第11番 藤井寺 ▼ 第12番 焼山寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第 11 番　藤井寺 ▶ 第 12 番　焼山寺

12.9km ※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

11 ふじいでら 藤井寺（標高 40m）

端山休憩所

へんろ石（道標）

へんろ石（道標）

ちょうどあん 長戸庵

へんろ石（道標）

りゅうすいあん 柳水庵

へんろ石（道標）

へんろ石（道標）

じょうれんあん 浄連庵

左右内の一本杉

すだち館

鍋岩西公衆

へんろ石（道標）

12 しょうさんじ 焼山寺（標高 700m）

じょうしんあん 杖杉庵

なべいわ荘

焼山寺山

奥之院

へんろみち周辺の宿泊施設

1	すだち館	088-677-1180
2	なべいわ荘	088-677-0181

縮尺＝1:30,000　0　1000m

N

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
(承認番号　平28情使、第1132号)」

第12番 焼山寺
●徳島県名西郡神山町下分字地中318
☎088-677-0112
●宿坊／なし

第13番 大日寺
●徳島県徳島市一宮町西丁263
☎088-644-0069
●宿坊／あり（要予約）

沿線の見どころ



神山温泉ホテル四季の里 &いやしの湯

西日本屈指の名湯を誇る神山温泉。泉質は重曹を含む食塩泉で、神経痛や筋肉痛、冷え性などに良いそう。大浴場には地元で採取された青石の浴槽と、玉石の浴槽があり、男女週替わり。日帰り入浴なら、入浴料と昼会席、休憩室の利用がセットになった「ゆったり昼休憩プラン」（1名4,600円（税別））がおすすめ。

所 徳島県名西郡神山町神領本上角80-2
焼山寺から南東へ11.5km
☎ 088-676-1117
営 10:00～21:00（10～3月は～20:00）
休 第4火曜（祝日の場合は営業）
料 入浴のみ大人600円

境内の見どころ



三面大黒天

本堂に向かって左側のお堂に安置されているのは、弘法大師作と伝わる三面大黒天像。これは中央に大黒天、右面に毘沙門天、左面に弁財天と、3つの顔が刻まれている珍しい大黒天。3人の神様が一体化したことで、すべての災いを取り除き、幸福をもたらすとして人々の信仰を集めている。

境内の見どころ



杉の巨木

境内に足を踏み入れてまず驚くのは、杉の巨木の多さである。幹周り5m前後の巨木は県の天然記念物に指定されている。山門付近に約40本、本堂西南に約15本、そして、奥の院に至る山中に100本余りあるという。推定樹齢は約300年にもなり、どっしりとした老木は、焼山寺のシンボルとなっている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成



静寂な境内には独特の山の霊気が漂っているようだ

第12番 摩廬山 正寿院 焼山寺
まろさん　しょうじゅいん　しょうさんじ

怪しい大蛇の炎に包まれた焼け山

歴史・全体像

もともとは大宝年間に役行者小角が山を開き、蔵王権現を祀って結んだ一本杉庵。この地に修行に訪れた弘法大師が疲れて一本杉庵の杉の木の下で眠っていると、夢の中に阿弥陀如来が現れ、周囲の異変を告げた。目を覚ますと、眼前は火の海。大師が身を清め、真言を唱えながら山を上ると、火は徐々に消えていった。だが9合目あたりまで来ると、岩窟から大蛇が姿を現し、大師の邪魔をしようと向かってきた。その時、光とともに虚空蔵菩薩が現れ、大師はその力を借りて大蛇を封じ込めることができた。そして大師は自ら三面大黒天を彫り、岩窟の上に安置。本尊の虚空蔵菩薩を刻み、焼け山の寺と名付けた。

境　内

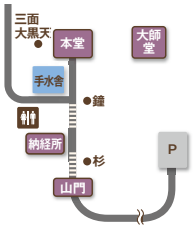
歩き遍路の昔から、「一に焼山、二にお鶴、三に太龍」といわれ、遍路道の中でも特に難所であった焼山寺。

国道からどんどん細い山道を上ってやっと辿り着く、標高938mの焼山寺山の8合目付近に位置するこの寺は、車で巡礼できるようになった今でも、四国八十八ヶ所霊場の中でもっとも険しいといわれている。11番藤井寺からの遍路道は今も残っているが、そこは徒歩でしか通れず、山道を越えて約6～8時間もかかるというから、車のない時代のお遍路さんの苦労が偲ばれる。奥の院は境内から歩いて約1kmの距離にあるので、足をのばしてみたい。

御詠歌／後の世を思えば恭敬焼山寺
死出や三途の難所ありとも
本尊／虚空蔵菩薩
真言／のうぼう あきゃしゃきゃらば や おん ありきゃまり ぼり そわか
宗派／高野山真言宗
開基／役行者小角



山道を上ってたどり着く本堂は厳か



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第12番 焼山寺 ▼ 第13番 大日寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第 12 番　焼山寺 ▶ 第 13 番　大日寺

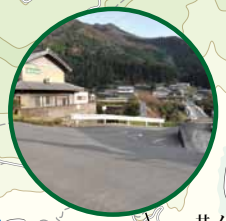
20.8km ※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

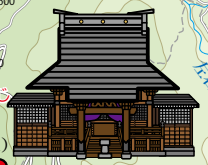
- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

へんろみち周辺の宿泊施設

1	すだち館	088-677-1180
2	なべいわ荘	088-677-0181
3	植村旅館	088-678-0859
4	プチペンションやすらぎ	088-678-0198
5	かどや旅館	088-644-0411
6	名西旅館 花	088-644-0025
7	大日寺 宿坊	088-644-0069







縮尺= 1:35,000　0　500　2000m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
(承認番号　平28情使、第1132号)」

第13番 大日寺
●徳島県徳島市一宮町西丁263
☎088-644-0069
●宿坊／あり（要予約）

第14番 常楽寺
●徳島県徳島市国府町延命606
☎088-642-0471
●宿坊／なし

沿線の見どころ



徳島県文化の森総合公園

園瀬川を見下ろす緑豊かな丘陵地に位置する、自然に包まれた総合文化施設。徳島県立21世紀館を核に、博物館、鳥居龍蔵記念博物館、近代美術館、図書館、文書館などの県の文化施設が立ち並ぶ。周囲にはそれぞれの文化施設と関連するテーマを持った公園や森林が広がり、自然を楽しみながら遊歩道を散策することもできる。

所 徳島県徳島市八万町向寺山
大日寺から東へ7.3km
☎ 088-668-1111
営 9:30～17:00（図書館は平日のみ～19:00）
休 月曜（祝日の場合は翌日）、図書館・文書館は、毎月第3木曜も休館、12/29～1/4
料 博物館、鳥居龍蔵記念博物館、近代美術館の入館は大人200円

境内の見どころ



薬医門

以前は向かいの一宮神社との間に道路はなく、山門が2つの境となっていたが、道路の開通により山門がなくなってしまった。それを復元してできたのが、平成18年（2006）に完成した薬医門だ。屋根の中心が前方寄りになっているのが特徴で、武家や医家の門として用いられることが多く、山門としては珍しい。

境内の見どころ



しあわせ観音

門を入って正面には、合掌している両手の形の厨子に納められた「しあわせ観音」が建っている。色鮮やかな衣を身にまとい、蓮を手にした美しい観音像で、しあわせを願ってお祈りすると良い事があるといわれている。しあわせ観音の裏側には小さな池があり、竜王像を取り囲むように七福神像が建っている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成



親しみやすい境内には地元の参拝客も多い

第13番 大栗山 花蔵院 大日寺
おおぐりざん　けぞういん　だいにちじ

一宮の本尊を祀るかつての別当寺

歴史・全体像

弘仁6年（815）、四国を巡錫中の弘法大師が鮎喰川を挟んで対岸にある「大師ヶ森」で護摩修法を行っていると、空中に紫雲とともに大日如来が出現。「この地は霊地なり、心あらば一宇を建立せよ」と告げられた。それを目にした大師はさっそく大日如来を刻んで本尊とし、堂宇を建てて安置した。寺名もこのことにちなんでつけられたものだ。後に阿波の総鎮守である一宮神社が建てられた時には別当寺となり、管理にあたっていた。明治時代の神仏分離令により、一宮神社にあった行基作といわれる十一面観世音菩薩は大日寺に移され本尊となり、もとの本尊である大日如来を脇侍仏とした。

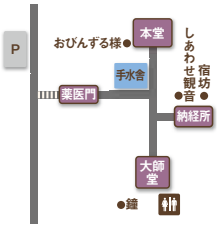
境　内

道を挟んで向かい側は一宮神社。薬医門を入ると左手に本堂があり、門から右手、本堂の正面が大師堂となる。弘法大師が建立した本堂は天正年間（1573～1592）の兵火により焼失してしまったため、現在の堂宇は明治時代に再建されたものだ。本堂前でやさしい笑みをたたえ、右手をあげて座っているのは撫で仏のおびんずる様で、願いを唱えながら撫でると叶えられるといわれている。客殿は平成6年（1994）に総檜造りの2階建てに建て替えられたもの。宿坊も備えられており、遍路で疲れた体を心地良く癒やしてくれる。

御詠歌／阿波の国一の宮とはゆうだすきかけて頼めやこの世のちの世
本尊／十一面観世音菩薩
真言／おん まか きゃろにきゃ そわか
宗派／真言宗大覚寺派
開基／弘法大師

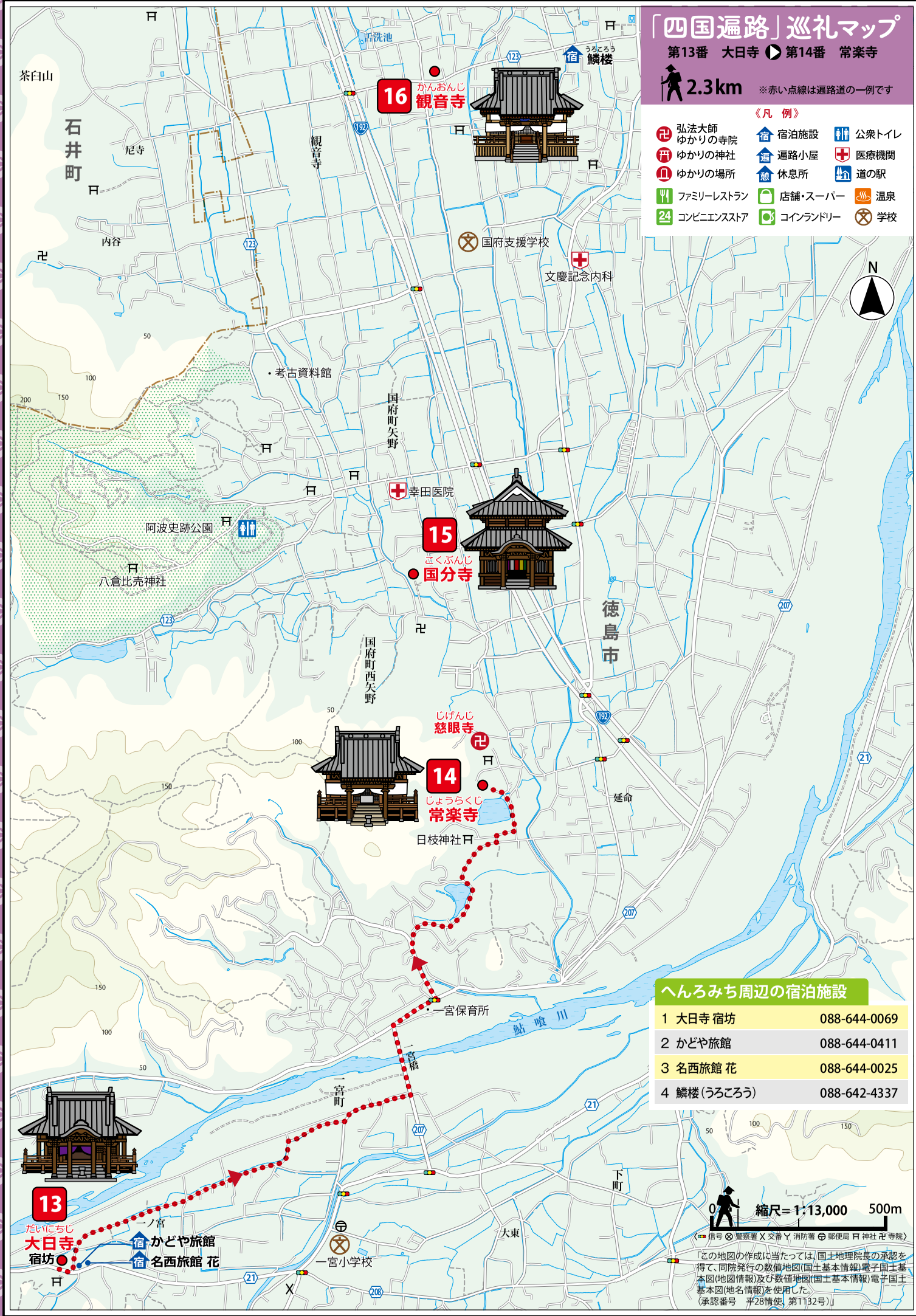


薬医門をくぐると左側に本堂が見える



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第13番 大日寺 ▼ 第14番 常楽寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産



へんろみち周辺の宿泊施設

1	大日寺 宿坊	088-644-0069
2	かどや旅館	088-644-0411
3	名西旅館 花	088-644-0025
4	鱗楼（うろころう）	088-642-4337

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
（承認番号　平28情使、第1132号）」

第14番 常楽寺
●徳島県徳島市国府町延命606
☎088-642-0471
●宿坊／なし

第15番 国分寺
●徳島県徳島市国府町矢野718-1
☎088-642-0525
●宿坊／なし

沿線の見どころ



八万温泉乙女の湯

眉山山麓の水量豊富な地にある八万温泉の湯は「美人の湯」として知られる。大浴場やジェットバスのほか、「ロイヤルコース（550円・700円）」なら岩造りの趣ある露天風呂やドライサウナ、塩サウナが利用できる。貸タオル・シャンプー・リンス・石けんが付いた「手ぶらセット（160円）」もあるので、体ひとつで立ち寄ることができる。

所 徳島県徳島市八万町下長谷258
常楽寺から東へ6.5km
☎ 088・668・5526
営 8:00～翌1:00
休 4・7・11月の第2水曜（祝日の場合は翌日）
料 大人410円

境内の見どころ



奥の院 慈眼寺

常楽寺から歩いて5分程度のところにある奥の院慈眼寺は、十一面観音を祀る風情ある寺。この観音様は別名子安観音と呼ばれており、安産祈願に訪れる人も多い。境内には本堂と大師堂のほかにもう一つお堂があり、夢のお告げによって彫られたという生木地蔵尊が祀られている。ぜひこちらにもお参りしたい。

境内の見どころ



流水岩の庭園

断層のある大岩盤がつくりだした流水岩の庭園。これはこの地に境内を移転する際に、山を切り崩して埋め立て、岩盤の奥に堂宇を建てたためにできたといわれている。ゴツゴツした地面は歩きにくいが、川の流れのような美しさは見ごたえがある。今でも雨や風などによって変化し続けているそうだ。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成



大岩盤の上にあり、自然が生み出した庭園のような境内

第14番 盛寿山 延命院 常楽寺
せいじゅざん　えんめいいん　じょうらくじ

本尊を弥勒菩薩とする唯一の寺

歴史・全体像

弘仁6年（815）、この地で修行を行った弘法大師が創建した寺。修行中に化身した弥勒菩薩が多くの菩薩を従えて現れ、説法を行ったので、大師は霊木にその姿を刻んで堂宇を建てて本尊にした。

寺は後に大師の弟子である真然僧正、祈親法師らによって伽藍が整備され、室町時代には細川家の祈願所として栄えた。しかし、天正年間（1573～1592）の兵火で焼失し、荒れ寺となる。その後江戸前期の万治2年（1659）、蜂須賀家によって再興され、文化15年（1818）には、ため池を造るために低地から40段あまりの石段を上がった現在地へ移っている。

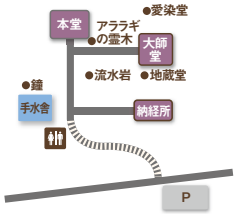
境　内

本堂は一番奥にあり、向かってその右に愛染堂と大師堂が建っている。本尊を弥勒菩薩としているのは、四国八十八ヶ所霊場で常楽寺のみ。この弥勒菩薩は、釈迦入滅してから、56億7000万年後にこの世に下生し、衆生を救済するといわれている。本堂に覆い被さるように枝を広げている大木は、弘法大師が糖尿病に苦しむ老人に煎じて飲ませたと伝えられるイチイ（アララギ）の木。この伝説から別名「アララギの霊木」と呼ばれ、病に霊験を発揮するといわれている。枝分かれしている部分をよく見ると、優しい顔の大師像「あららぎ大師」が置かれているのがわかる。

御詠歌／常楽の岸にはいつか到らまし弘誓の船に乗り遅れずば
本尊／弥勒菩薩
真言／おん まい たれいや そわか
宗派／高野山真言宗
開基／弘法大師

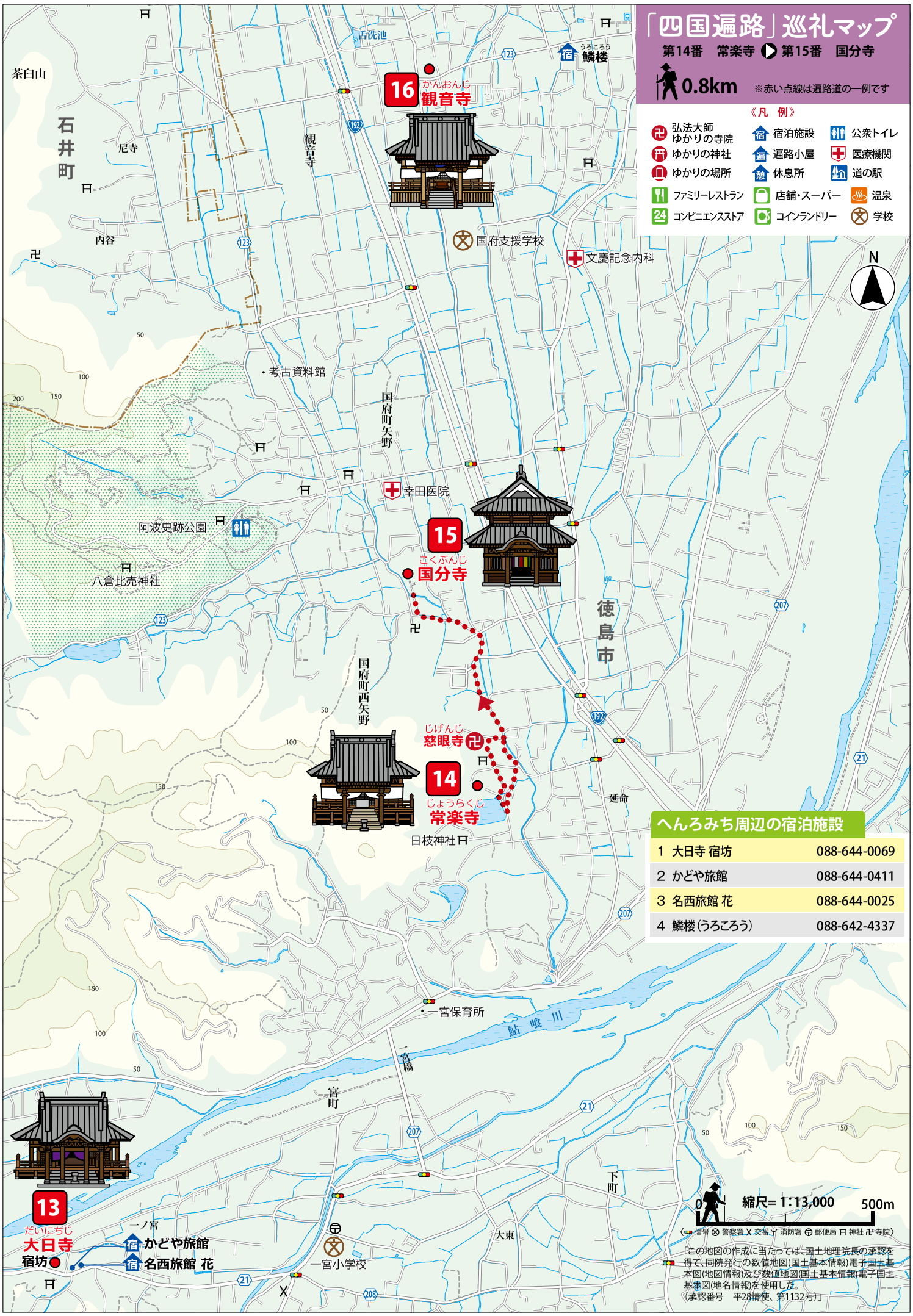


流水岩の庭園を歩きながら本堂に向かう



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第14番 常楽寺 ▼ 第15番 国分寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産



各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第15番 国分寺
●徳島県徳島市国府町矢野718-1
☎088-642-0525
●宿坊／なし

第16番 観音寺
●徳島県徳島市国府町観音寺49-2
☎088-642-2375
●宿坊／なし

沿線の見どころ



阿波史跡公園

多くの文化財や歴史的文化遺産に触れることができる史跡公園。広大な敷地の公園内には、徳島の歴史文化を体験・学習できる歴史文化ゾーンや、竪穴住居や高床倉庫など古代の邑（むら）を復元した古代生活ゾーン、自然体験ゾーンなど4つのゾーンがある。

境内の見どころ



名勝 阿波国分寺庭園

本堂横にある枯山水の大庭園が、作庭家・日本庭園史の研究家であった重森三玲氏によって見出されたのは昭和15年（1940）のこと。平成12年（2000）には国の名勝に指定され、発掘調査によって、江戸時代末期に大改修されたことがわかった。平成23年（2011）12月より一般公開されている。拝観料300円。

境内の見どころ



七重塔心礎

境内の片隅に、七重塔の心礎といわれる心礎石が置かれている。天平12年（740）、国分寺造営詔勅の前年に諸国に七重塔造営が命じられているので、天平年間（729～749）には建立されていたと思われる。環溝型という珍しい形式で、「塔の本」の地か、興禅寺前の田んぼから移されたと伝えられている。

所 徳島県徳島市国府町西矢野
☎ 088-621-5295（徳島市公園緑地課）
開 入園自由
休 無休

文化庁

JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成



本堂の横には中国の名勝・廬山を模したという庭園がある

第15番 薬王山 金色院 国分寺
やくおうざん　こんじきいん　こくぶんじ

遺跡と庭園に往時の繁栄を偲ぶ

歴史・全体像

天平13年（741）、聖武天皇が天下泰平を祈願して全国66ヶ所に建立した国分寺の一つで、天皇の勅命を受けた行基が建設を指揮。天皇は釈迦如来像と大般若経を納めたという。当時の規模は寺領二町四方、鎮護国家の祈願所として七重大塔を備えた大寺院であった。しかし、寺は天正年間（1573～1592）、長宗我部軍の兵火によって、烏瑟沙摩明王堂（うすさまみょうおうどう）だけを残して焼失した。その後長く荒廃していたが、寛保元年（1741）に阿波藩主の命令によって再建され、以来宗派も現在の曹洞宗となった。本尊は薬師如来。本堂内には、聖武天皇と光明皇后の位牌が祀られている。

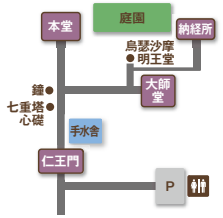
境　内

山門をくぐって真正面に見えるのが本堂。重層入母屋造りの本堂は、文化文政年間（1804～1830）に第九世光山文明和尚によって再建されたもので、往時を彷彿とさせるスケールを持つ。大師堂は平成26年（2014）2月28日に再建された。また、国分寺の中で唯一、戦国時代の兵火を逃れたのが烏瑟沙摩明王堂。烏瑟沙摩明王とは、弘法大師が唐から招来した密教の神で、悪を降伏させて善へと導くという。浄化の力があり、眼と下半身の病に霊験があるといわれている。納経所には烏瑟沙摩明王のお札があり、トイレの入り口に貼っておくと下の病気も治るという。

御詠歌／薄く濃くわけわけ色を染めぬれば流転生死の秋の紅葉ば
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／曹洞宗
開基／聖武天皇（勅願）



重層入母屋造りの堂々とした本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第15番 国分寺 ▼ 第16番 観音寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第15番　国分寺 ▶ 第16番　観音寺

1.8km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コインランドリー
- 学校
- コンビニエンスストア



16 かんおんじ 観音寺

15 こくぶんじ 国分寺

14 じょうらくじ 常楽寺

じげんじ 慈眼寺

13 だいにちじ 大日寺

宿坊

宿 鱗楼（うろころう）

宿 かどや旅館

宿 名西旅館 花

阿波史跡公園

八倉比売神社

日枝神社

幸田医院

文慶記念内科

国府支援学校

一宮小学校

一宮保育所

・考古資料館

石井町

徳島市

国府町矢野

国府町西矢野

一宮町

下町

大東

延命

鮎喰川

観音寺

古洗池

茶臼山

尼寺

内谷

一ノ宮

一宮橋

へんろみち周辺の宿泊施設

1	大日寺 宿坊	088-644-0069
2	かどや旅館	088-644-0411
3	名西旅館 花	088-644-0025
4	鱗楼（うろころう）	088-642-4337

N

縮尺= 1:13,000

0　500m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
（承認番号　平28情使、第1132号）」

第16番 観音寺
●徳島県徳島市国府町観音寺49-2
☎088-642-2375
●宿坊／なし

第17番 井戸寺
●徳島県徳島市国府町井戸字北屋敷80-1
☎088-642-1324
●宿坊／なし

沿線の見どころ



織工房 藍布屋（らんぷや）

阿波で生まれた伝統工芸・阿波正藍染の技法を今に伝える岡本織布工場。徳島県無形文化財に指定されている職人が建てる藍染めは、微妙な色の変化を見事に表現。隣にある直営ショップでは、ハンカチやバッグなどの小物からTシャツ、ジーンズまで様々な藍染め商品が揃う。工場では藍染めやローケツ染め体験も（予約制）。

所 徳島県徳島市国府町和田161
☎ 088-642-0062
営 10:00～17:00
休 無休（工場は土・日曜、祝日休）

境内の見どころ



鐘楼門

遍路道に沿っていくと、民家の中に一際目立つ鐘楼門が建っている。和様重層の堂々とした門は風格があり、往時の繁栄を偲ばせる。境内と外界との境を塀ではなく、寄進者の名を彫り込んだ石柱で切っているのも特徴。鐘楼門にあった鐘楼は、戦時中に供出されたままになっており、音色を聞くことはできない。

境内の見どころ



夜泣き地蔵尊

鐘楼門右の岩の中に納められた夜泣き地蔵尊は、子どもの夜泣きを止めてくれるという。困っている親たちだけでなく、小さな子どもが親と一緒に手を合わせる姿も見られる。夜泣き封じをお願いしてご利益にあずかった人たちは、お礼に新しいよだれかけを奉納する。お年寄りの安眠の願いも叶えてくれるそうだ。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成



商店や民家が建ち並ぶ中にある境内は、こぢんまりとしている

第16番 光耀山 千手院 観音寺
こうようざん　せんじゅいん　かんおんじ

古い町並みに溶け込む悠久の歴史

歴史・全体像

聖武天皇が諸国に命じて、国分寺、国分尼寺を創立させたのと同年の天平13年（741）、同じく聖武天皇の勅願道場として創立。弘仁7年（816）に弘法大師がこの地を訪れ、等身大の千手観世音菩薩を刻んで本尊として、両脇侍に不動明王と毘沙門天を安置した。これは観世音菩薩の功徳と不動明王の威力、毘沙門天の授福にあやかるということで、焼山寺の三面大黒天などと共通した様式。寺はその後、長宗我部軍の兵火によって焼失したが、万治2年（1659）に再建されて現在に至る。かつて阿波の国の中枢があった寺の周辺は、今は落ち着いた町並みとなり、昔ながらの田舎の風情を漂わせている。

境　内

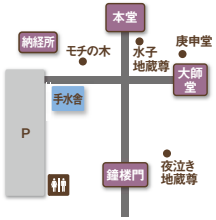
境内は、鐘楼門を入った正面に本堂、右側に大師堂、本堂と大師堂の間に水子地蔵尊が祀られている。堂宇は江戸初期の建築様式の特徴が随所に見られ、建造物としても見ごたえ十分だ。

本堂には炎に包まれた女性が描かれた額が掲げられている。これは明治時代、淡路島から訪れた女性が雨に濡れた白衣を乾かしていた時に、焚き火が燃え移ったことに由来する。女性はかつて仲の悪かった姑を薪の燃え残りで叩いて、いじめたことがあったというのだ。弘法大師からその戒めを受けたのだと深く反省し、この絵を奉納したという。

御詠歌／忘れずも導きたまえ観音寺
西方世界弥陀の浄土へ
本尊／千手観世音菩薩
真言／おん ばざら たらま きりく そわか
宗派／高野山真言宗
開基／弘法大師



本堂は鐘楼門を入ってすぐの正面にある



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第16番 観音寺 ▼ 第17番 井戸寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第 16 番　観音寺 ▶ 第 17 番　井戸寺

2.8km　※赤い点線は遍路道の一例です

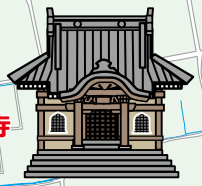
《凡　例》

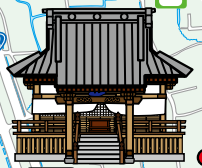
- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

へんろみち周辺の宿泊施設

1	鱗楼（うろころう）	088-642-4337
2	おんやど松本屋	088-642-3772







「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
（承認番号　平28情使、第1132号）」

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第17番 井戸寺
●徳島県徳島市国府町井戸字北屋敷80-1
☎088-642-1324
●宿坊／なし

第18番 恩山寺
●徳島県小松島市田野町恩山寺谷40
☎0885-33-1218
●宿坊／なし

沿線の見どころ



眉山

標高290m、「眉の如雲居に見ゆる阿波の山かけて漕ぐ舟とまり知らずも」と万葉集に詠まれた眉山は、自然がそのまま残る徳島市のシンボルだ。さだまさし原作の映画「眉山」の舞台としても有名なスポットで、ロープウェイで頂上まで約6分間の小旅行が楽しめる。天気のいい日には、淡路島や紀伊半島まで見渡せる。

所 徳島県徳島市眉山町茂助ヶ原
☎ 088-621-5232（徳島市観光課）
営 ロープウェイ9:00～17:30
（4～10月は～21:00、8/12～15は～22:00）
休 無休（点検日は除く）

沿線の見どころ



ひょうたん島周遊船

徳島駅を中心に、新町川と助任川に囲まれた「ひょうたん島」を水の上から観光しようというもの。約6kmのコースを一周する約30分間のクルージングで、途中、県庁前のヨットハーバーや新町川水際公園など名スポットをゆっくりと眺めながら船は進む。水上から徳島の街の表情を楽しめると評判だ。

所 徳島県徳島市南内町2丁目
新町川水際公園ボートハウス前
☎ 090-3783-2084
（NPO法人新町川を守る会 中村会長）
営 11:00から40分毎に運航
（最終15:40、7・8月は最終19:40）
休 無休
料 保険料大人200円

境内の見どころ



大門

四国霊場には珍しく、朱塗りの鮮やかな門が参拝者を迎えてくれる。この武家造りの大きな門は、蜂須賀公が大谷別邸の門を移築、寄進したもの。現在の門は近年になって当時を再現して建てられた二代目だ。四国最大級といわれる仁王像が両側にたち、裏側には大きなわらじが飾られている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成



広々とした境内。かつては広大な寺域を誇ったという

第17番 瑠璃山 真福院 井戸寺
るりざん　しんぷくいん　いどじ

面影の井戸に招福を祈願する

歴史・全体像

もともとは瑠璃山妙照寺といい、末寺十二坊を持つ大規模な寺院であった。本尊の七仏薬師如来は聖徳太子の作といわれている。弘仁6年（815）にこの地を訪れた弘法大師は、この本尊を是非にと拝み、その際、身の丈8尺余り（約190cm）の十一面観世音菩薩や十二神将、四天王、薬師如来の脇侍の日光菩薩と月光菩薩を刻んで安置した。この十一面観世音菩薩は榧の木の一木一体造りで、国の重要文化財。寺はその後、南北朝の時代に細川頼之の戦乱で焼失。頼之の息子が再建したものの、天正の兵火でまたも焼失。そして、慶応年間（1865～1868）に蜂須賀公の援助を受けて再興を果たした。

境　内

2度の火災の後、慶応年間に再興されたものの、本堂は昭和43年（1968）にも不慮の火災にて中央本尊を残して焼失してしまった。しかし、その3年後に鉄筋コンクリート造りで再建された。

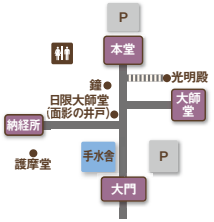
内部には坐像の薬師瑠璃光如来を中心に、日光菩薩、月光菩薩、四天王、十二神将を安置している。ガラスや仕切り戸越しにしか拝観できない寺が多い中、すぐ間近で拝観することができる。

また、寺名の由来となった面影の井戸は、水不足に苦労していた村人を哀れんで、大師が一夜にして掘ったと伝えられている。

御詠歌／面影を映してみれば井戸の水結べば胸の垢や落ちなん
本尊／七仏薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／真言宗善通寺派
開基／天武天皇（勅願）



七仏薬師如来が間近に拝める本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第17番 井戸寺 ▼ 第18番 恩山寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

17 いどじ 井戸寺

24

ひょうたん島周遊船

ほうさくじ 法谷寺

眉山

じぞういん 地蔵院

へんろ石（道標）

へんろ石（道標）

地蔵越

へんろ石（道標）

眉山カントリークラブ





セブン

キョーエイ

協立病院

八万南小学校

文化の森駅

文化の森総合公園



バス営業所

キョーエイ

地蔵橋駅

大松小学校

博愛記念病院



とくしま動物園

総合動植物公園

佐那河内村

N

0 縮尺＝1:45,000 2000m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
（承認番号　平28情使、第1132号）」

「四国遍路」巡礼マップ

第 17 番　井戸寺 ▶ 第 18 番　恩山寺

16.8km ※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

へんろみち周辺の宿泊施設の案内

※当エリアは宿泊施設多数あり

1 徳島県旅館ホテル生活衛生同業組合　088-652-7694



おつえのみず 弘法大師 御杖の水



18 おんざんじ 恩山寺

第18番 恩山寺
●徳島県小松島市田野町恩山寺谷40
☎0885-33-1218
●宿坊／なし

第19番 立江寺
●徳島県小松島市立江町字若松13
☎0885-37-1019
●宿坊／あり（要予約）

沿線の見どころ



みはらしの丘 あいさい広場

徳島市内から国道55号を南へ進み赤石トンネルを抜け、一つ目の信号を右折すると小高い丘の上にある県内最大級の産直市。生産者から届く旬の新鮮な野菜や果物をはじめ、小松島の特産品、お米パン、たまごプリンなどが店頭に並び、毎日地元の人たちで賑わう。丘の上からの眺めも気分を爽快にしてくれる。

所 徳島県小松島市立江町炭屋ヶ谷47-3
☎ 0885-38-0112
営 8:30～17:30
休 無休（年末年始を除く）

境内の見どころ



びらん樹

女人禁制とされていた寺へ訪ねてきた母君を迎え入れるため、大師が修行したとされる川のそばに植えられた木。暖地に生育するため常緑で他所に比べて背の高いのが特徴だ。修行の末、女人禁制を解いたのを記念し、大師自らが植えたと伝えられている。昭和29年（1954）に徳島県の天然記念物に指定されている。

境内の見どころ



玉依御前の剃髪所

修行中の大師に会うため、讃岐の地からはるばる旅をしてやってきた大師の母君・玉依御前を祀ったお堂。母君はここで髪の毛を剃り、お堂の中にはその時の髪の毛が納められている。「たらちねの母こそしのぐ恩山寺大師の利生（りしょう）あらたなりけり」との御詠歌がかけられている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成



駐車場から少し上がったところにある境内。生い茂る木々が生命力を感じさせる

第18番 母養山 宝樹院 恩山寺
ぼようざん　ほうじゅいん　おんざんじ

大師の母君への孝行を伝える寺

歴史・全体像

元々は行基が厄除のために建立した、大日山福生院密厳寺という女人禁制の寺であった。その後100年余りを経て、弘法大師が滞在して修行をしている時、大師の母君である玉依御前（たまよりごぜん）が訪ねて来られた。しかし、この山は女人禁制であったため、大師はひと七日（一週間）滝に打たれ修行をし、女人解禁の秘法を修められた。そうして大師はやっと母君を迎え入れ、この寺で孝行を尽くしたといわれている。赤い欄干の橋の下に植えられているびらん樹は、この時大師が修行をした場所を示している。また、大師の母君はこの寺で髪の毛を剃って出家した。その髪の毛は剃髪所に納められている。

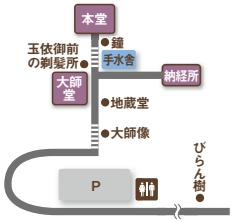
境　内

駐車場から徒歩約1分、参道を進むと樹齢約300年の大イチョウや、樹齢約350年のソテツなど立派な木々が生い茂る境内へとたどり着く。納経所では、四国霊場の中で唯一、恩山寺だけに伝わる「摺袈裟（すりげさ）」が人気である。別名「袈裟曼荼羅」とも呼ばれる珍しいお守りで、所持すれば滅罪生善（悪いことを良いことに変える）の功徳があるという。また、大師堂には大師が自らの像を彫刻されたものを本尊として安置。人々に福が訪れ、厄難を免れ、詣った者のいかなる罪も消えるように、と祈願しながら彫られたという大師像だ。

御詠歌／子を産めるその父母の恩山寺訪らひがたきことはあらじな
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／高野山真言宗
開基／行基菩薩

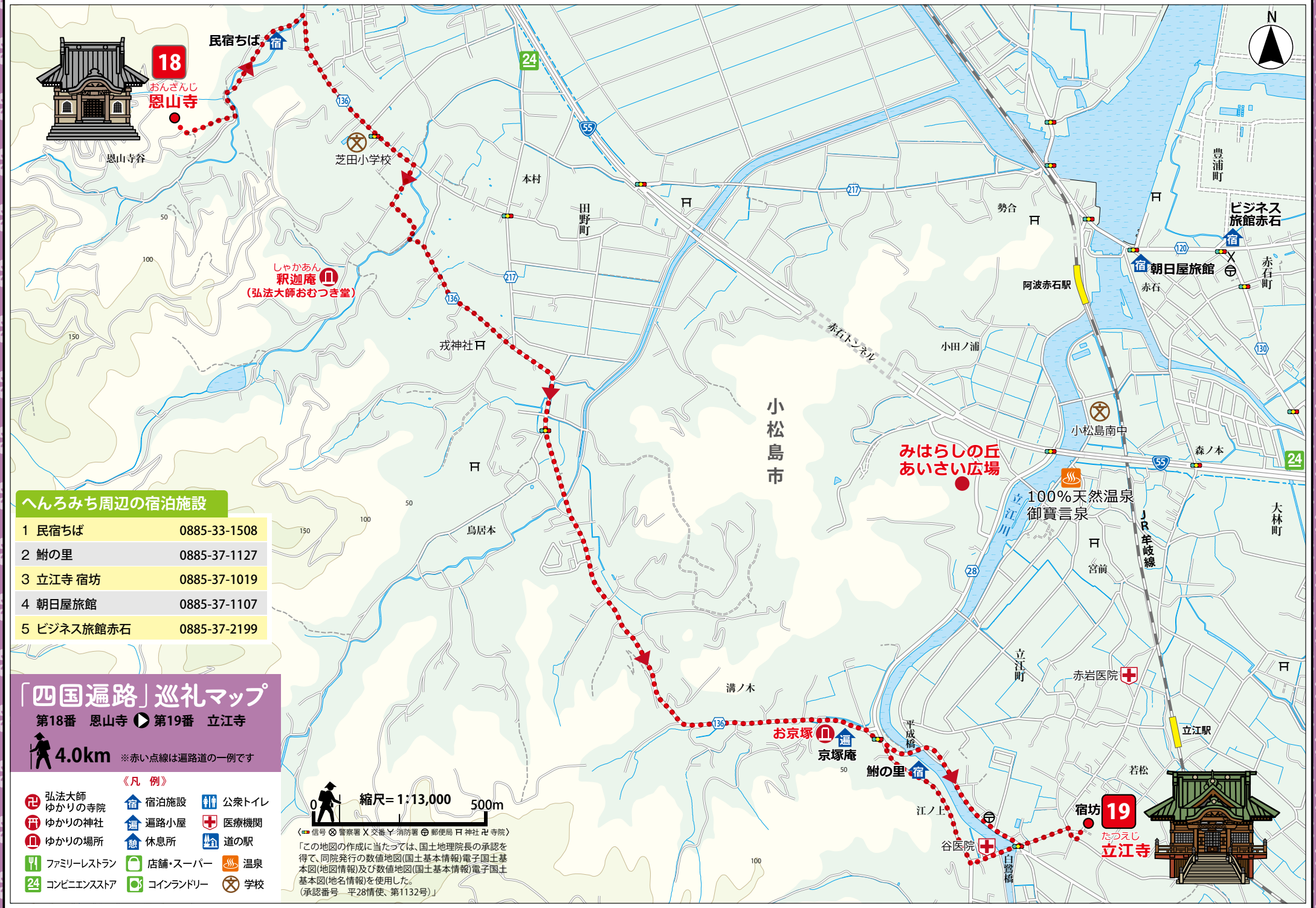


山門から続く階段を上がると正面に本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第18番 恩山寺 ▼ 第19番 立江寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産



へんろみち周辺の宿泊施設

1	民宿ちば	0885-33-1508
2	鮒の里	0885-37-1127
3	立江寺 宿坊	0885-37-1019
4	朝日屋旅館	0885-37-1107
5	ビジネス旅館赤石	0885-37-2199

「四国遍路」巡礼マップ

第18番　恩山寺 ▶ 第19番　立江寺

4.0km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
（承認番号　平28情使、第1132号）」

第19番 立江寺
●徳島県小松島市立江町字若松13
☎0885-37-1019
●宿坊／あり（要予約）

第20番 鶴林寺
●徳島県勝浦郡勝浦町生名字鷲ケ尾14
☎0885-42-3020
●宿坊／あり（休館中）

沿線の見どころ



JA東とくしま よってネ市

年間を通して販売するみかんを目当てに、多くの人が訪れる、勝浦郡の自然の恵みが集まるJA東とくしまの産直市。約300人の地元の農家から届く新鮮な野菜や果物、花、漬物など特産品の直売が行われ、その安さも魅力。旬の野菜を使った寿司や惣菜なども人気だ。地元の人たちとの交流も楽しみの一つ。

所 徳島県勝浦郡勝浦町生名字太田45-1
☎ 0885・42・4930
営 7:00～17:00
休 月曜（祝日の場合は営業）

境内の見どころ



本堂の天井画

向かって左に観音堂、右に護摩堂を有する本堂は、昭和49年（1974）の火災で焼失後、昭和52年（1977）に再建されたもの。当時の東京芸術大学の教授や助教授ら40名余りが描きあげた絵が鮮やかに天井を彩る。賓頭盧尊者（びんずるそんじゃ）と寿老人の像もあり、息災延命などの願いが叶うといわれている。

境内の見どころ



黒髪堂

夫がありながら男と不義密通を犯したお京という女は、ある日男を手引きし夫を殺してしまう。自害しきれず四国巡礼を始めた二人が、この寺に辿り着き地蔵尊を拝もうとした時、お京の髪の毛が逆立ち、鐘の緒に巻き上げられた。あわてて懺悔をし命が助かったお京は、その後出家し生涯を終えたという。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成


広い境内だけに見どころも多い

第19番 橋池山 摩尼院 立江寺
きょうちざん　まにいん　たつえじ

荘厳な本堂を絵天井が彩る

歴史・全体像

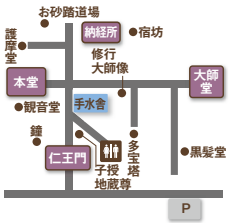
天平19年（747）、聖武天皇の勅願により行基が光明皇后の安産を願いつつ、念持仏として一寸八分（5cm余り）の金の地蔵菩薩「延命地蔵尊」を本尊として堂塔を建立したのが始まりといわれる。その後、弘仁6年（815）に弘法大師が訪れた際、この像の紛失を危惧し、自ら6尺（約1・8m）の地蔵尊を刻み、小さな金の像をその胸の部分に納めて安置。この時、寺号を立江寺とし、霊場第19番に定めた。天正年間に兵火で本尊のみを残して焼失した後、阿波藩主・蜂須賀家政公によって再興。昭和49年（1974）にも不慮の火災で本堂などを焼失したが、本尊はまたも奇跡的に難を逃れた。

境　内

境内に入ると、すぐ右手に子授地蔵尊がある。行基が光明皇后の安産を祈願して開基したことから安置されたこの地蔵は「子安の地蔵尊」や「立江の地蔵さん」などの愛称で呼ばれ、地元の人たちから親しまれている。立派な多宝塔をはじめ見どころが多く、特に本堂の天井画は文化財として高く評価されている。修行大師像は本堂の正面にあり、大師像の足下では先祖供養の経木流しをすることができる。また、この寺は四国八十八ヶ所霊場の根本道場といわれ、阿波の関所寺でもあったため、邪悪な心の持ち主や、罪を犯した者が訪れると罰が下るとの言い伝えがある。

御詠歌／いつかさて西の住居のわが立江弘誓の舟にのりていたらむ
本尊／延命地蔵菩薩
真言／おん かかかび さんまえい そわか
宗派／高野山真言宗
開基／行基菩薩


堂々とした本堂は天井画で知られる



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第19番 立江寺 ▼ 第20番 鶴林寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産



各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第20番 鶴林寺
●徳島県勝浦郡勝浦町生名字鷲ケ尾14
☎0885-42-3020
●宿坊／あり（休館中）

第21番 太龍寺
●徳島県阿南市加茂町龍山2
☎0884-62-2021
●宿坊／なし

沿線の見どころ



氷柱（つらら）観音

道端の石段を上って山道を行くと赤い祠がある。中には長い年月をかけて自然の力で作られた鍾乳石の観音像が祀られている。祠の奥には県内有数の規模の鍾乳洞が縦に深く開いており、氷柱のような鍾乳石が地中に向かって垂れ下がっている。鶴林寺から太龍寺へ降りる県道19号沿いにあるが、見過ごしやすいので要注意。

所 徳島県那賀郡那賀町和食郷字田野
鶴林寺から南へ10.5km
☎ 0884･62･1198（にぎわい推進課）
営 参拝自由

境内の見どころ



丁石（ちょういし）

鶴林寺境内や周辺の遍路道「鶴林寺道」「太龍寺道」は昔からの景観をとどめており、札所寺院や遍路道として四国で初めて国の史跡となった。石畳や道標、丁石、遍路墓など多くの石造物が配置されており、その中でも南北朝時代に建立された丁石は、徳島県内で最も古く、鶴林寺の歴史とともに真言密教に対する当時の庶民信仰の高まりを裏付ける貴重な資料でもある。

境内の見どころ



三重塔

本堂を正面に左手には杉の木、そして、右手上段にあるのが文政6年（1823）、江戸末期に建てられた三重塔だ。この塔は、各層が和様、唐様などそれぞれ異なった建築手法を駆使して造られており、当時の文化をうかがい知る上でも貴重な手がかりとなる重層建築だ。県有形文化財に指定されている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成



標高が高いため、澄んだ空気に包まれている

第20番 霊鷲山 宝珠院 鶴林寺

りゅうじゅざん　ほうじゅいん　かくりんじ

白鶴が運んだ金色の地蔵菩薩伝説

歴史・全体像

「一に焼山、二にお鶴、三に太龍」といわれるほど、急勾配な坂を上らねばたどり着けない、八十八ヶ所巡礼の難所として知られる。延暦17年（798）、桓武天皇の勅願により開基されたと伝えられる。伝説によれば、同年、弘法大師がこの地を訪れて修法をしていると、雌雄二羽の白鶴が代わる代わる翼をかざし、金色の地蔵菩薩を守護しながら杉の梢に舞い降りてきた。それを見た大師はすぐに三尺の地蔵菩薩を彫刻し、その胸の部分に、白鶴が運んできた一寸八分の金色に輝く地蔵菩薩を納めて本尊とし、寺号を鶴林寺と命名された。この地蔵菩薩は国指定重要文化財となっている。

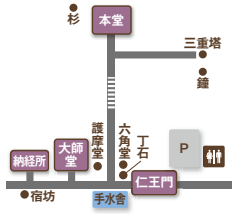
境　内

境内には大師の像を納めた六角堂（地蔵堂）と6体の地蔵尊のほか、忠霊殿、護摩堂などがある。本堂の向かって右には三重塔がそびえ建ち、荘厳な趣を添えている。また、仁王門の仁王像は、運慶の作と伝えられている。本堂の両脇にはお堂を守るように佇んでいる一対の鶴の像があり、本尊が白鶴に守護されながら降臨されたとされる杉の木は、今でも本堂の向かって左にある。また、地元の人々から「お鶴さん」と呼ばれ親しまれているこの寺は、勝浦川の麓から登り坂が続く標高５００ｍの山頂に位置しており、付近一帯は自然公園に指定されている。

御詠歌／しげりつる鶴の林をしるべにて大師ぞいます地蔵帝釈
本尊／地蔵菩薩
真言／おん かかかび さんまえい そわか
宗派／高野山真言宗
開基／弘法大師



本堂を守るように一対の鶴が立つ



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第20番 鶴林寺 ▼ 第21番 太龍寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第20番　鶴林寺 ▶ 第21番　太龍寺

6.7km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

20 かくりんじ 鶴林寺（標高 500m）

21 たいりゅうじ 太龍寺（標高 520m）

勝浦町　生名　大井　小学校跡　田舎谷　大井町　倉野　水井橋　水井町　那賀川　若杉谷川　阿南市　若杉　臼台　細野町　へんろ石（道標）　山頂駅　太龍寺ロープウェイ









0　縮尺= 1:15,000　1000m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
（承認番号　平28情使、第1132号）」

N

第21番 太龍寺
●徳島県阿南市加茂町龍山2
☎0884-62-2021
●宿坊／なし

第22番 平等寺
●徳島県阿南市新野町秋山177
☎0884-36-3522
●宿坊／なし

沿線の見どころ



道の駅わじき のぎくの館

豊かな自然溢れる鷲敷ラインの入り口にある「道の駅わじき」。駅内の「のぎくの館」には、ゆずの加工品や山菜の漬物、こんにゃくなどの特産品がずらり。喫茶コーナーでは手づくりシフォンケーキが人気。おすすめは鹿肉を使った道の駅限定グルメ・ナカシカ丼。9月～6月の毎週日曜に販売される杵つき草餅も評判だ。

所 徳島県那賀郡那賀町中山字関ヶ原34-56
☎ 0884-62-3553
営 9:00～17:00
休 木曜

沿線の見どころ



太龍寺ロープウェイ

太龍寺山の麓と山頂までの全長2775mを結ぶ、西日本最長のロープウェイ。眼下に広がる雄大な眺望に感動すること間違いなし。標高602mの山越えや川越えもスリリングだ。山頂からは、晴れた日には紀伊半島を望むこともできる。運行は毎時0分、20分、40分の20分毎で、定員は101名。

所 徳島県那賀郡那賀町和食郷字田野76
☎ 0884-62-3100
営 7:20～17:00（12～2月は8:00～）
休 無休
料 大人往復2,470円、片道1,300円

境内の見どころ



舎心ヶ嶽（しゃしんがだけ）

ロープウェイで行き来する途中、切り立った岸壁の上に大師の坐像を見ることができる。ここは大師が19歳の時に100日間にわたって、虚空蔵求聞持法という、記憶力と判断力を身につける秘法を体得した場所。山頂駅から約20分、山道を歩けば行くことができる。道筋には石仏八十八ヶ所が設けられている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成



立派な佇まいの護摩堂

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ

第21番 太龍寺 ▼ 第22番 平等寺

第21番 舎心山 常住院 太龍寺
しゃしんざん じょうじゅういん たいりゅうじ

ロープウェイで行く西の高野

歴史・全体像

第50代桓武天皇の勅願によって開かれた寺で、弘法大師が自ら刻んだ虚空蔵菩薩が本尊として本堂に安置されている。本堂は開創以来、何度かの落雷や火災などで焼失し、現在のものは嘉永5年（1852）に蜂須賀斎裕公によって再建されたもの。平成3年（1991）には大修理も行われ、威風堂々と参拝者を迎えている。太龍寺は大師が19歳の時に修行を行い、室戸岬と並んで青年時代の思想形成に大きな影響を与えた場所。「一に焼山、二にお鶴、三に太龍」といわれる阿波三大難所の一つとしても知られていたが、現在はロープウェイがあるためアクセスしやすい。

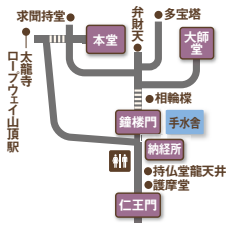
境　内

弘法大師の修行時代を偲ばせる迫力ある境内。本堂の横から御廟の橋、大師の拝殿、その裏手に御廟があり、高野山奥の院と同じ配列になっている。「西の高野」と呼ばれる所以の一つだ。大師堂には「竹林の七賢人」や「司馬温公の幼年の逸話」など、中国の民話や伝説が彫刻されていて、繊細な描写が見事である。周囲に老杉がそびえる境内には、多宝塔、相輪樘、求聞持堂、護摩堂、六角経蔵などがあり、そのスケールは圧巻。なお、阿南市側から車で寺の近くまで行くとなると、駐車場から仁王門まで約2kmの道のりを歩くことになる。

御詠歌／太龍の常にすむぞやげに岩屋舎心聞持は守護のためなり
本尊／虚空蔵菩薩
真言／のうぼう あきゃしゃきゃらばや おん ありきゃまり ぼり そわか
宗派／高野山真言宗
開基／桓武天皇（勅願）



山中に建つ厳かな雰囲気の本堂



JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第 21 番　太龍寺 ▶ 第 22 番　平等寺

10.9km ※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー

21 たいりゅうじ 太龍寺（標高 520m）

山頂駅

太龍寺ロープウェイ

舎心ケ嶽

太竜寺山

水井町

黒河

阿南市

阿瀬比町

阿瀬比

道の駅わじき のぎくの館

東内

生杉

八幡神社

中山川

唐杉

持福院

中山

とふめん

下司名

日ノ浦

助友

JA集出荷場

下田酒店

那賀町

北谷川

蛋石谷

北谷

山口小学校

山口町

仲分

津ノ末

田野

南谷

へんろみち周辺の宿泊施設

1　山茶花（さざんか）　0884-36-3701

新野町

秋山

22 びょうどうじ 平等寺

さざんか 山茶花

へんろ石（道標）

馬場

西光寺

大根

桑野川

岡花

富士医院

新野小学校

宮ノ久保

廿ケ谷

N

縮尺= 1:23,000　0　1000m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

第22番 平等寺
●徳島県阿南市新野町秋山177
☎0884-36-3522
●宿坊／なし

第23番 薬王寺
●徳島県海部郡美波町奥河内字寺前285-1
☎0884-77-0023
●宿坊／あり、薬師会館0884-77-1138

沿線の見どころ



大浜海岸

美波町のシンボル・ウミガメが、毎年産卵のために訪れる海岸。きめ細かな砂が美しい海岸線は日本の渚百選にも選ばれている。産卵シーズンは5月中旬～8月中旬、ふ化は8月中旬～9月下旬。ウミガメは夜に上陸するので、5月20日～8月20日の19時30分～翌朝4時まではウミガメ保護規制が行われ、海岸へは立入禁止。

所 徳島県海部郡美波町日和佐浦
☎ 0884-77-3617（美波町産業振興課）

沿線の見どころ



日和佐うみがめ博物館 カレッタ

0～2歳のかわいい子ガメがチョコチョコと泳ぐ水槽と、体長1mを超える大きなウミガメが泳ぐプールがあり、間近で観察できる。世界のウミガメの実物大展示や大浜海岸のウミガメの産卵シーンをハイビジョンシアターで上映しているほか、パソコンクイズなどもあり、子どもから大人まで楽しめる博物館になっている。

所 徳島県海部郡美波町日和佐浦370-4
☎ 0884-77-1110
営 9:00～17:00
休 月曜（祝日の場合は翌日）
料 大人600円

境内の見どころ



開運鏡の井戸

金色の梵字から薬師如来が現れた時、大師が杖で掘ったという井戸。乳白色だった水は現在では無色透明になっているが、どんな日照りにも涸れることなく、今でもこんこんと湧き続けている。また、この水は万病に効くという「弘法の霊水」として知られており、用意されている容器に入れて持ち帰ることができる。

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成



背後を山に囲まれた伽藍配置

第22番 白水山 医王院 平等寺
はくすいざん いおういん びょうどうじ

大師の井戸が今も水をたたえる

歴史・全体像

弘仁5年（814）に弘法大師が開基したと伝えられるこの寺には、次のような伝説がある。大師がこの地を訪れた際に、空中に五色の瑞雲がたなびき、その中に現れた梵字が金色のまばゆい輝きを放った。そしてその梵字は薬師如来に姿を変え、光明が四方に輝いたのだという。そこで加持水を求めた大師が杖で井戸を掘ると、乳白色の水が湧き出してきた。その霊水で身を清めた大師は、100日間の修行を経た後に薬師如来の像を刻み、これを本尊として安置。この乳白色の水によって人々が分け隔てなく平等に救済されますように、との願いを込めて寺号を平等寺と定めたといわれている。

境　内

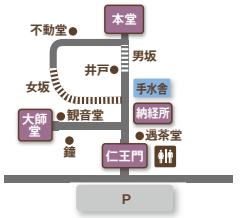
境内は、仁王門を入るとまず鐘楼堂と大師堂がある。本堂は、大師が杖で掘られた井戸の横から男坂を上がった先にあり、その左側の不動堂から女坂を下ったところに観音堂がある。男坂と女坂はそれぞれの本厄の年齢と同じ段数になっているため、厄除けを祈願して1段1段にお賽銭を置いていく参拝者の姿も多く見られる。

また、大正・昭和の時代に医者からも見放された足の不自由な参拝者が、この寺で霊験をさずかったという言い伝えも残り、その記念として3台の箱車（現在の車椅子のようなもの）が本堂に奉納されている。

御詠歌／平等にへだてのなきと聞く時はあら頼もしき仏とぞ見る
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／高野山真言宗
開基／弘法大師



男坂を上りきったところにある本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第22番 平等寺 ▼ 第23番 薬王寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

へんろみち周辺の宿泊施設

1	山茶花（さざんか）	0884-36-3701
2	橋本屋旅館	0884-78-0033
3	民宿ゆき荘	0884-78-0513
4	民宿明山荘	0884-78-1717
5	民宿樹園	0884-78-1695
6	えびすロッジ	0884-77-0436
7	ホテル白い燈台	0884-77-1170
8	国民の宿うみがめ荘	0884-77-1166
9	きよ美旅館	0884-77-0550
10	ふなつき旅館	0884-77-0168
11	平繁旅館	0884-77-0072
12	ビジネスホテル ケアンズ	0884-77-1211
13	薬王寺 宿坊 薬師会館	0884-77-1138

※左切図から続く。











0 500 縮尺＝1：36,000 2000m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
(承認番号　平28情使、第1132号)」

「四国遍路」巡礼マップ

第22番　平等寺 ▶ 第23番　薬王寺

19.7km ※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

第23番 薬王寺
●徳島県海部郡美波町奥河内字寺前285-1
☎0884-77-0023
●宿坊／あり、薬師会館0884-77-1138

第24番 最御崎寺
●高知県室戸市室戸岬町4058-1
☎0887-23-0024
●宿坊／あり（要予約）

沿線の見どころ



室戸海洋深層水 アクア・ファーム

実際に深海から海洋深層水を取水し給水している施設。館内では、パネルや模型などで特徴や取水方法などが学べる。汲みあげられたばかりの水に触れ、パイプを通って迷いこんできた深海の生物を見ることができる。海洋深層水を使ったミネラルウォーターやアイスクリームなどの関連商品も販売している。

所 高知県室戸市室戸岬町3507-1
☎ 0887・24・2822
営 9:00～17:00
休 日曜、祝日（要確認）
料 見学無料

沿線の見どころ



道の駅日和佐

JR日和佐駅のすぐ隣りに位置し、国道55号に面したアクセス良好な道の駅。物産館と産直館があり、地元の人たちがつくった新鮮な野菜や果物、特産品などが並ぶ。施設内で湧出している温泉水を利用した足湯が無料なのもうれしい。温まりながら人々と交流を深められる、お遍路さんにはありがたいスポットだ。

所 徳島県海部郡美波町奥河内字寺前493-6
☎ 0884・77・2121
営 9:00～18:00
休 無休
料 足湯無料

境内の見どころ



厄坂

3つの厄坂を上る前に、1円玉や5円玉をたくさん用意しておこう。女厄坂は33段、男厄坂は42段、還暦厄坂は61段あり、厄払いのためこの石段の一段ごとに賽銭を置きながら上っていくのがこの寺の習わしとなっている。また、石段の下には、薬師本願経を一字ずつ書いた小石が埋められている。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成



年始には初詣客も多く訪れる

第23番 医王山 無量寿院 薬王寺
いおうざん　むりょうじゅいん　やくおうじ

全国に名を馳せる厄除け寺

歴史・全体像

厄除けの寺として全国から参拝客が訪れる薬王寺は、神亀3年（726）に行基が聖武天皇の勅願によって建立したのが始まりといわれている。その後、弘仁6年（815）、弘法大師が平城上皇から民衆の厄除け祈願寺を開くようにとの勅願を受け、本尊の厄除薬師如来を彫刻して安置し、厄除けの根本祈願寺とした。この寺には嵯峨天皇や鳥羽天皇などの歴代天皇が、厄除け祈願のために勅使を遣わしたほか、後嵯峨天皇が伽藍を再建、仁助法親王が落慶供養をされた。藩政時代には蜂須賀家から寺領を賜るなど多くの信仰を集めた寺である。また、嘉禄2年（1226）には土御門上皇が行在所として住まわれた。

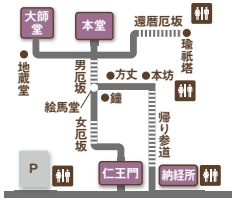
境　内

厄除け橋を渡り、仁王門をくぐりぬけ、急勾配の女厄坂を上る。上りきったところの絵馬堂にあるのが厄除け臼で、厄除けを祈願しながら、自分の歳の数だけ杵でつくのが習わしだ。
女厄坂とくれば、その次に待っているのは男厄坂。この坂を上ると本堂へとたどり着く。幾度かの火災や兵火などで焼失・再建を繰り返したが、現在の本堂は明治41年（1908）に再建されたものである。男厄坂を上った先の広場や、本堂の右手から還暦厄坂を上った先にある瑜祇塔（ゆぎとう）からは、日和佐の町並みと海の眺望が広がる。

御詠歌／皆人の病みぬる年の薬王寺 瑠璃の薬を与えましまし
本尊／厄除薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／高野山真言宗
開基／行基菩薩



本堂は秘仏「後ろ向き薬師本尊」が安置



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第23番 薬王寺 ▼ 第24番 最御崎寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第23番　薬王寺 ▶ 第24番　最御崎寺

75.4km ※赤い点線は遍路道の一例です

B地点

へんろみち周辺の宿泊施設の案内

1 徳島県旅館ホテル生活衛生同業組合　088-652-7694

佛海庵
スーパーフェニックス
佐喜浜小学校
佐喜浜中学校
佐喜浜港
モンマート
佐喜浜スーパー
民宿ロッジおざき
民宿徳増
立岩
鹿岡鼻
室戸市
民宿椎名
八坂神社
椎名漁港
太平洋
大の川
大久保
四十寺山
稲石
山田
室津
三津坂トンネル
三津
三津漁港
室戸世界ジオパークセンター
室戸市役所
室戸スカイライン
尾垂山
菜生
六ヶ谷
室戸岬町
ロッジ室戸岬
室戸海洋深層水アクア・ファーム
ジオパーク夢路灯
シレスト室戸
ウトコディープシーテラピーセンター&ホテル
御蔵洞
ホテル明星
岬観光ホテル
24 最御崎寺（標高165m）
宿坊
観光旅館室戸荘
室戸岬園地休憩所

香峰
阿波海南駅
海南小学校
A地点
海部小学校
海部駅
ピア海部
民宿海部
生本旅館
NASA
ふれあいの宿遊遊NASA
那佐港
阿佐海岸鉄道阿佐東線
海陽町
〈徳島県〉
はるる亭
辨天屋旅館
宍喰温泉
ホテルリビエラししくい
宍喰中学校
宍喰漁港
宍喰駅
えびす
愛宕旅館
宍喰
民宿ぬしま
寿美医院
魚住食品店
甲浦港
甲浦小学校
スーパーフェニックス
大和旅館
甲浦駅
ホワイトビーチホテル
海の駅東洋町
谷口
民宿いくみ
南風
民宿みちしお
東洋町役場
サウス・ショアー
民宿南国苑
生見
〈高知県〉
東洋町
相間
相間川
めいとくじ 明徳寺（東洋大師）
野根スーパー
野根小学校
野根大橋
野根中学校
伏越ノ鼻
ごろごろ休憩所
別役
法海上人堂
淀ヶ磯
御崎
室戸市
淀ヶ磯休憩所
B地点

《凡　例》
弘法大師ゆかりの寺院
ゆかりの神社
ゆかりの場所
宿泊施設
遍路小屋
休息所
公衆トイレ
医療機関
道の駅
温泉
学校
ファミリーレストラン
コンビニエンスストア
店舗・スーパー
コインランドリー

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平28情使、第1132号)」

0 縮尺=1:80,000 2000m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

23 薬王寺 宿坊（薬師会館）
日和佐駅
道の駅日和佐
奥潟トンネル
日和佐トンネル
日和佐
odori
山河内駅
美波町
JR牟岐線
コインスナックおにがいわや
こまつだいし 小松大師
辺川駅
鍛冶屋谷山
牟岐町
牟岐漁港（古牟岐）
あづま
牟岐中学校
牟岐駅
牟岐町役場
民宿杉本
砂美観光
海部病院
牟岐漁港（牟岐）
牟岐
わらじだいし 草鞋大師
やさか民宿
しらきや
内妻荘
出羽島
さばだいし 鯖大師
鯖瀬駅
海山荘
鯖大師へんろ会館
大砂荘
民宿大砂
民宿吉田
浅川
浅川湾
浅川港
伊勢田下
海老ヶ池
蛇王運動公園
五反田
浅川駅
稲横山
海南病院
海部高校
海陽中学校
香峰
阿波海南駅
海南小学校
A地点
鞆奥漁港
海部小学校
四方原

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp